

デジタル スチルカメラ

取扱説明書



ヘルプガイド (Web取扱説明書)

Web上のマニュアル「ヘルプガイド」
もご覧ください。パソコンやスマート
フォンでご覧いただけます。

<http://rd1.sony.net/help/dsc/1610/ja/>

やりたいことから探す

準備する

基本操作を確認する

静止画を撮る

動画を撮る

見る

カメラの設定を変える

パソコンでできること

カメラに機能を追加する

機能を一覧で確認する

Cyber-shot

DSC-RX10M3

⚠ 警告 安全のために

→ 114~117ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリー・チャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ➡ ① 電源を切る
② 電池をはずす
③ 相談窓口に連絡する

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

⚠ 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠ 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠ 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠ 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



フラグをコンセントから抜く



指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

メニューの表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

メモリーカードのバックアップについて

て

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたりすると、メモリーカードのデータが壊れることができます。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i記録対応機です。
- 本機は、1080 60p記録対応機です。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。
- 本機は4K 30p/4K 24p記録対応機です。より高解像の映像を撮影することができます。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。

管理ファイルエラーが発生したときは、PlayMemories Home™ですべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。

フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット](20ページ)を行ってください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能は備えていません。雨中での使用時は、本機に雨がかからないようにしてください。使用後に汚れた場合は、本機を清掃してください。水、砂、ほこり、塩分などが本機に残っていると、故障の原因になります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。カメラの内部が故障することがあります。

- ・強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- ・砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- ・結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(111ページ)。
- ・本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れことがあります。
- ・フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。

ZEISSレンズ搭載

本機はZEISSレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。

本機のレンズは、ドイツカール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

モニターおよびファインダー、レンズについてのご注意

- ・モニターやファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- ・バッテリー残量がなくなると、レンズが出了たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。
- ・モニターを持って本機を持ち運ばないでください。
- ・レンズ駆動時に物や指を引き込まれないように注意してください。

ファインダーでの撮影について

- ・ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出ることがあります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。
- ・高解像度、高コントラストの有機EL
ファインダーを搭載しています。視認性の良いファインダーを実現するため、様々な要素のバランスを重視した設計を行い、広い視野角と、長いアイポイントを実現しています。
 - ファインダーの周辺部分の画像が少し歪んで見える場合がありますが、故障ではありません。構図の隅々まで確認して撮影したいときは、モニターも使用してください。
 - ファインダーをのぞきながらパンしたり、視線を上下左右に動かすと、ファインダーの画像が歪んだり、色合いが変わって見える場合があります。これはレンズや表示デバイスの特性によるもので、故障ではありません。なるべくファインダーの中央付近を見るようにして撮影してください。

フラッシュについて

- ・フラッシュ部を持ったり、無理な力を加えないでください。
- ・上がったフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。
- ・フラッシュ部を下げるときに手を挟まないように注意してください。
- ・マルチインターフェースキーに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。また国や地域によって発売されていない場合があります。

本機の温度について

ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は、ともに保証いたしません。

XAVC S動画とAVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

XAVC S動画とAVCHD動画をパソコンに取り込むときは、ソフトウェアPlayMemories Homeを下記からインストールして使用してください。
<http://www.sony.net/pm/>

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。MENUボタン →  (セットアップ) → [認証マーク表示]を選択してください。本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談下さい。

本機で撮影した動画を、他機で再生する際のご注意

- 本機で記録した動画は本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また他機で記録した動画は本機で再生できない場合があります。
- ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。
- XAVC Sの動画は、対応機器以外では再生できません。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

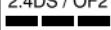
本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。

3.その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2



この無線機器は
2.4GHz帯を使用し
ます。変調方式とし
てDSSS/OFDM変
調方式を採用し、与
干渉距離は20m以下
です。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ・ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ・ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- ・セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国、または地域の電波関連規制等に違反する恐れがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

著作権についてのご注意

- ・あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのの中には、個人として楽しむなどの目的があつても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- ・[著作権情報]の不正使用を未然に防ぐため、カメラを貸したり譲渡するときには、[撮影者名設定]と[著作権者名設定]欄は必ず空欄にしてください。
- ・[著作権情報]の使用によってトラブルや損害が生じても、弊社では一切の責任を負いかねます。

録画・再生に際してのご注意

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全のために	2
お使いになる前に必ずお読みください	3
「ヘルプガイド」について	12
やりたいことから探す	
やりたいことから探す	13
準備する	
本体と付属品を確認する	15
ショルダーストラップを使う	15
各部の名前を確認する	16
バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる	19
メモリーカードをフォーマットする	20
メモリーカードを取り出す	20
バッテリーを取り出す	20
バッテリー充電と使用可能枚数・時間	21
パソコンに接続して充電する	22
バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数	23
外部電源で本機を使う	24
日付と時刻を設定する	25
日付と時刻を確認する/合わせ直す	26

基本操作を確認する

操作方法を確認する	27
コントロールホイールの使いかた	27
コントロールダイヤルの使いかた	27
Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ	28
MENUボタンで選ぶ	29
カメラ内ガイドを見る	30

静止画を撮る

自動で最適な設定で撮る(オート撮影)	31
状況を自動判別して撮る(おまかせオート/プレミアムおまかせオート)	32
オート撮影の特徴	33
ズームする	34
W/T(ズーム)レバーのズームスピードを変える	35
レンズリングのズーム設定を変える	35
ズーム倍率	36
見失った被写体をすばやく見つける (ズームアシスト)	36
フラッシュを発光して撮る	38
使用可能なフラッシュモード	39
モニター表示を変える(DISP)	40
画像のサイズを選ぶ	42
画質を選ぶ(RAW/JPEG)	44
撮影モードを変える(モードダイヤル)	45
場面に合った撮影モードを使う(シーンセレクション)	46
絞りとシャッタースピードを好みの設定にする	47
背景のぼかし具合を調節して撮る(絞り優先)	47
動くものの表現を変えて撮る (シャッタースピード優先)	48
思い通りの露出で撮る(マニュアル露出)	49

ピントを合わせる	51
ピント合わせの方法を選ぶ	51
ピントを合わせるエリアを選ぶ (フォーカスエリア)	52
ピントを手動で好みの位置に合わせる (マニュアルフォーカス)	53
明るさを調整する(露出補正)	55
ISO感度を選ぶ	56
連続して撮る(連写)	57
セルフタイマーで撮る	59
撮影機能を自分好みにカスタマイズする	60
登録した設定を呼び出して撮影する(MR)	60
Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える	61
カスタムキーの設定機能を変える	61
前レンズリング/後レンズリングの機能を カスタマイズする	64
シャッター方式を選ぶ	65

動画を撮る

動画を撮る	67
動画の記録方式/画質を選ぶ	68
絞りとシャッタースピードを設定して 動画を撮る	70
動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)	71
手ブレを抑えて動画を撮る	71
あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル)	72
スーパースローモーション撮影をする (ハイフレームレート撮影)	73

見る

静止画を見る	76
動画を見る	77
素早く探す(一覧表示)	78
削除する	79
その他の再生機能を使う	79

カメラの設定を変える

電子音の設定を変える	80
静止画に撮影日付を入れる	80

パソコンでできること

ソフトウェアを活用する	81
パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home)	82

カメラに機能を追加する

カメラに機能を追加する (PlayMemories Camera Apps)	83
アプリケーションをダウンロードする	83
アプリケーションを起動する	84

機能を一覧で確認する

MENUボタンで選ぶ機能一覧	85
(撮影設定)	85
(カスタム設定)	89
(ワイヤレス)	93
(アプリケーション)	93
(再生)	94
(セットアップ)	95
撮影モードごとの設定できない機能	98
モニターに表示されるアイコン一覧	99
表示パネルの表示	103

その他

使用できるメモリーカード	104
静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間	105
静止画	105
動画	106
故障かな？と思ったら	108
使用上のご注意	111
保証書とアフターサービス	113
安全のために	114
主な仕様	118
索引	121

Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能の詳細については、別紙の「Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド」またはヘルプガイド(12ページ)をご覧ください。

「ヘルプガイド」について



「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。

パソコンやスマートフォンでご覧ください。

以下の機能など、さらに詳しい使いかたをご覧いただけます。

- 囲ピント拡大初期倍率
- \oplus 拡大の初期倍率
- \oplus 拡大の初期位置
- ISO AUTO低速限界
- ピクチャープロファイル
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB設定
- オートデュアル記録
- ブライトモニタリング
- 瞳AF
- ピクチャーエフェクト
- クリエイティブスタイル
- パノラマ撮影

URL :

<http://rd1.sony.net/help/dsc/1610/ja/>



やりたいことから探す

カメラまかせできれいに撮りたい

+(プレミアムおまかせオート)で撮る	32, 45
シーンセレクションで好みのモードを選んで撮る	46

動画を撮りたい

MOVIE(動画)ボタンでかんたんに撮る	67
動画を撮りながら静止画を撮る	71
スーパースローモーション撮影をする	73
動画の記録方式と画質を設定する	68
好みの設定で動画を撮る	70

薄暗い場所でもブレずに撮りたい

+(プレミアムおまかせオート)で撮る	32, 45
シーンセレクションの (手持ち夜景)、 (人物ブレ軽減)で撮る	46
ISO感度を上げる	56
セルフタイマーを使って手ブレを抑える	59
フラッシュを発光して撮る	38

動いている被写体を撮りたい

シーンセレクションの (スポーツ)を使う	46
ロックオンAFでピントを合わせ続ける	52
連続撮影で複数枚撮る	57
シャッタースピードを上げてブレずに撮る	48

背景をぼかして撮りたい

絞りを好みの設定にして撮る	47
---------------	----

逆光でもきれいに撮りたい

+(プレミアムおまかせオート)で撮る	32, 45
フラッシュを発光して撮る	38

被写体に近づいて撮りたい

シーンセレクションの  (マクロ) で撮る	46
撮影可能な最短距離を確認する	31

好みの設定で思いどおりに撮りたい

多彩な機能を設定できる撮影モードにする (撮影モード P/A/S/M)	33, 47, 48, 49
望遠側での撮影時に構図を合わせやすくする	36
ピントを手動で好みの位置に合わせる	53
モニターやファインダーの表示内容を切り換える	27, 40
水準器を確認して、カメラを水平にして撮る	40
気にいった設定をカメラに覚えさせる (MR)	60
Fn (ファンクション) ボタンで 好みの設定にする	28, 61
画像の横縦比、画像サイズ、画質を変えて撮る	42, 85
カスタムキーの設定機能を変える	61
前レンズリング/後レンズリングの機能を カスタマイズする	64

日付を設定したい/撮影日や著作権情報を入れたい

日付を設定する/変更する	25, 96
静止画に撮影日を挿入する	80
著作権情報を設定する	96

パソコンに画像を取り込んで活用したい

PlayMemories Homeをインストールする	82
動画からディスクを作成する	82

カメラにアプリケーションを追加したい

アプリケーションをダウンロードする	83
-------------------------	----

Wi-Fi機能を使いたい

Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能の詳細については、別紙の「Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド」またはヘルプガイド(12ページ)をご覧ください。

本体と付属品を確認する

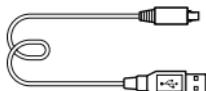
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内の数字は個数です。

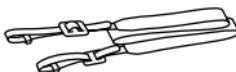
- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリー
パックNP-FW50 (1)



- マイクロUSBケーブル (1)



- ACアダプター (1)
- ショルダーストラップ (1)



- レンズキャップ (1)



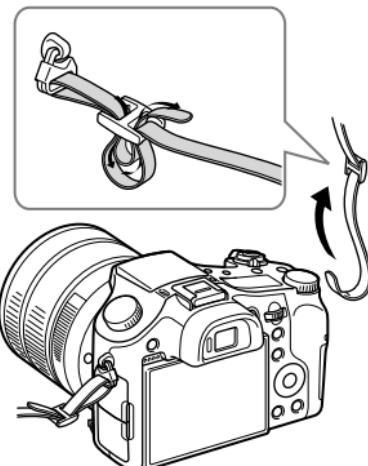
- レンズフード (1)



- シューキャップ (1)
(本機に装着)
- アイピースカップ (1)
(本機に装着)
- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)
- Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド (1)

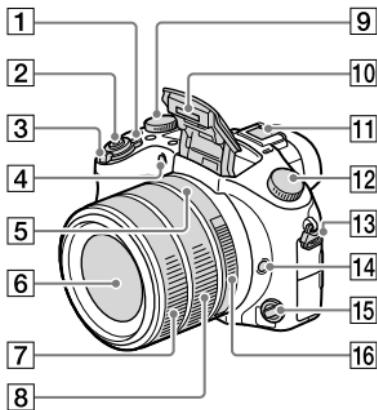
ショルダーストラップを使う

落下防止のため、
ショルダーストラップを取り付け
てご使用ください。

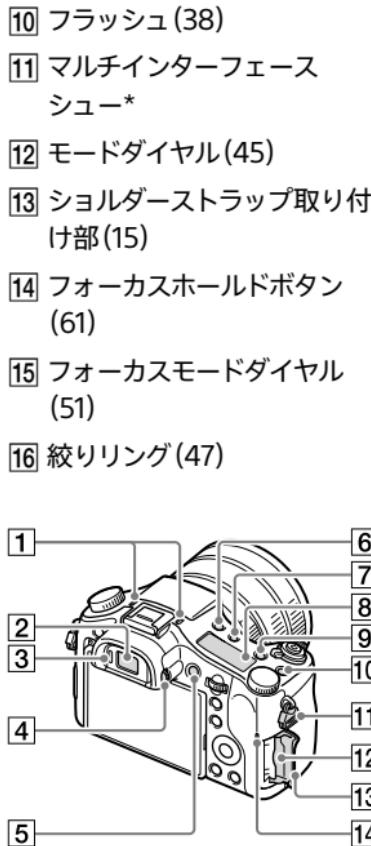


各部の名前を確認する

()内の数字は参照ページです。

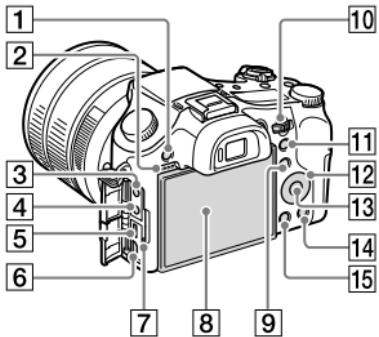


- ① オン オフ ON/OFF(電源)スイッチ (25)
- ② シャッター ボタン Shutter button (31)
- ③ 撮影時 : W/T(ズーム) レバー
再生時 : (一覧表示) レバー (78) / 再生ズームレバー (76)
- ④ セルフタイマーランプ Self-timer lamp (59) / AF補助光 (86)
- ⑤ 紋り指標 Focus ring indicator
- ⑥ レンズ Lens
- ⑦ 前レンズリング Front lens ring (64)
- ⑧ 後レンズリング Rear lens ring (64)
- ⑨ 露出補正ダイヤル Exposure compensation dial (55)
- ⑩ フラッシュ (38)
- ⑪ マルチインターフェース シュー* Multi-interface shoe (15)
- ⑫ モードダイヤル Mode dial (45)
- ⑬ ショルダーストラップ取り付け部 Shoulder strap mount (15)
- ⑭ フォーカスホールドボタン Focus hold button (61)
- ⑮ フォーカスモードダイヤル Focus mode dial (51)
- ⑯ 紋りリング Focus ring (47)



- ① マイク Microphone
- ② ファインダー Viewfinder
- ③ アイセンサー Eye sensor
- ④ 視度調整ダイヤル Diopter adjustment dial
- ⑤ MOVIE (動画) ボタン Movie button (67)

- ⑥ (フラッシュポップアップ) ボタン (38)
- ⑦ (表示パネル照明) ボタン (103)
- ⑧ 表示パネル (103)
- ⑨ C2ボタン (カスタムボタン2)
- ⑩ C1ボタン (カスタムボタン1)
- ⑪ ショルダーストラップ取り付け部 (15)
- ⑫ メモリーカード挿入口 (19)
- ⑬ メモリーカードカバー (19)
- ⑭ アクセスランプ (20)

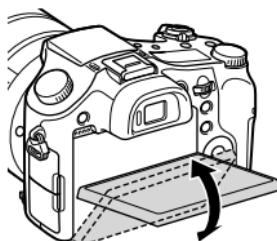


- ① メニュー
MENUボタン (29)
- ② スピーカー
- ③ (マイク) 端子
 - マイク端子に外部マイクを接続すると、内蔵マイクから外部マイクへ自動的に切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。
- ④ (ヘッドホン) 端子

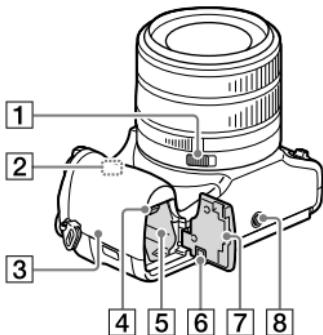
- ⑤ マルチ/マイクロUSB端子* (21、83)
 - マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

- ⑥ HDMIマイクロ端子 (77)
- ⑦ 充電ランプ (21)
- ⑧ モニター (40)

- モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



- ⑨ 撮影時 : Fnボタン (28、61)
再生時 :
 (スマートフォン転送) ボタン (14)
- ⑩ コントロールダイヤル (27)
- ⑪ 撮影時 : AELボタン
再生時 : (再生ズーム) ボタン
- ⑫ コントロールホイール (27)
- ⑬ 中央ボタン (27)
- ⑭ 撮影時 : C3ボタン
(カスタムボタン3) (61)
再生時 : (削除) ボタン (79)
- ⑮ (再生) ボタン (76)



① 紋りリングクリック切換スイッチ(47)

② Wi-Fi受信部(内部)

③ N(Nマーク)(14)

- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。

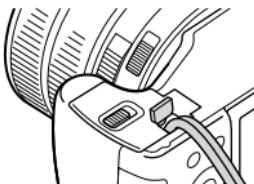
- NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

④ バッテリーロックレバー(19)

⑤ バッテリー挿入口(19)

⑥ 接続プレートカバー

ACアダプターAC-PW20(別売)を使うときに使います。バッテリー挿入口に接続プレートを入れ、図のように接続プレートカバーからコードを出します。



- カバーを閉じるときは、コードを挟まないように気をつけてください。

⑦ バッテリーカバー(19)

⑧ 三脚用ネジ穴

- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

* マルチインターフェースシューやマルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>
アクセサリーシューやマルチ/マイクロUSB端子対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。

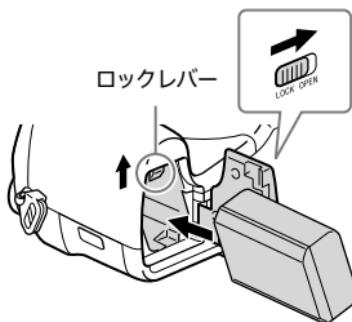
ni Multi Interface Shoe

Accessory Shoe

バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる

1 バッテリーカバーを開けてバッテリーを入れる。

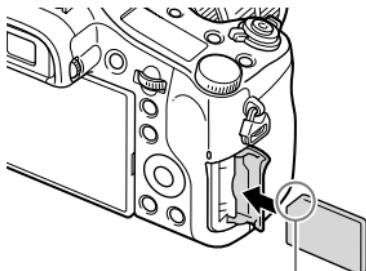
- バッテリーの向きを確認し、ロックレバーを押しながら入れます。



2 バッテリーカバーを閉じる。

3 メモリーカードカバーを開けてメモリーカード(別売)を入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きにして入れます。
- 本機で使用できるメモリーカードについては、104ページをご覧ください。



4 メモリーカードカバーを閉じる。

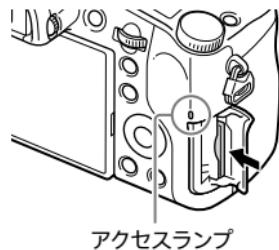
メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット(初期化)することをおすすめします。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報(M1～M4)も含めて、すべてのデータが削除され、元に戻せません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- フォーマットするには、MENUボタン →  (セットアップ) → [フォーマット] を選びます。

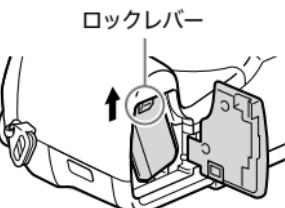
メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。



バッテリーを取り出す

ロックレバーをずらす。バッテリーが押し出されるので、落下しないように注意する。



ご注意

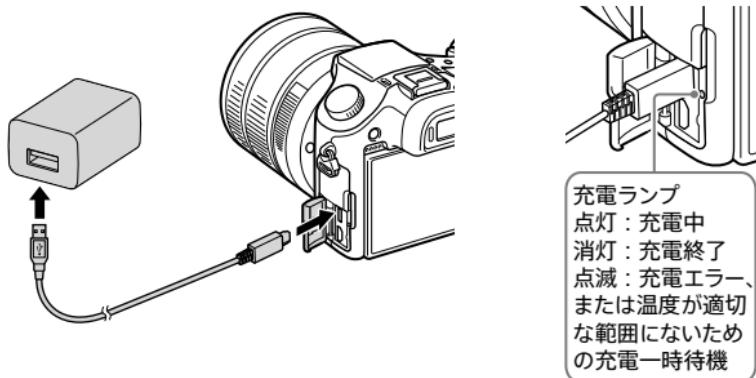
- アクセスランプ点灯中は、メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れことがあります。

バッテリー充電と使用可能枚数・時間

初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。

充電したバッテリーは、使わなくても少しづつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

-
- 1 バッテリーを入れた本機とACアダプター(付属)をマイクロUSBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。**
- 充電は本機の電源を切った状態で行ってください。



充電ランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了
点滅：充電エラー、
または温度が適切
な範囲にないため
の充電一時待機

充電時間の目安(満充電)

約150分で充電できます。充電ランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

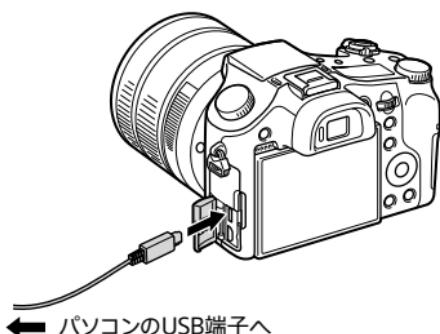
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25 °Cの環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

ご注意

- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。
- バッテリーの充電は周囲の温度が10°C～30°Cの環境で行ってください。
- 付属または推奨のACアダプター/チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ACアダプターAC-PW20(別売)を使用すると電力が供給された状態で撮影/再生を行えます。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。
本機の電源を切った状態でつないでください。



ご注意

- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。また同時に使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

		使用時間	枚数
静止画撮影	モニター	—	約420枚
	ファインダー	—	約370枚
実動画撮影	モニター	約65分	—
	ファインダー	約70分	—
連続動画撮影	モニター	約120分	—
	ファインダー	約130分	—
静止画再生		約315分	約6300枚

ご注意

- 撮影枚数は満充電されたバッテリーを使用した場合の目安です。撮影枚数は使用方法により減少する場合があります。
- 撮影枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
 - 当社製のメモリースティック PRO デュオ™ (Mark2) (別売) を使用
 - 温度25°Cの環境
 - [表示画質] : [標準]
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
(CIPA: カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
 - DISP : [全情報表示]
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 1回ごとにズームをW側、T側に交互に最後まで動かす。
 - 2回に一度、フラッシュを発光する。
 - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 記録設定 : XAVC S HD 60p 50M
 - 実動画撮影 : 撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返した場合の目安。
 - 連続動画撮影 : 連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP(画面表示切換)を押して表示してください(40ページ)。

外部電源で本機を使う

付属のACアダプターを使うと、撮影/再生時もバッテリーの消費を抑え
て、コンセントから電力を供給しながら使用できます。

1 バッテリーを本機に入れる(19ページ)。

**2 マイクロUSBケーブル(付属)とACアダプター(付属)で、本機と
コンセントをつなぐ。**

ご注意

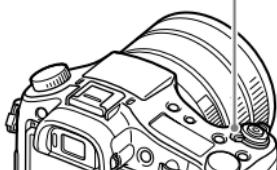
- ・バッテリーの残量がないと動作しません。充電したバッテリーを本機に入れて
ください。
- ・外部電源で本機を使用する場合は、USB給電中を表すアイコン()がモニ
ターに表示されていることをご確認のうえ、本機をご使用ください。
- ・給電しながらのご使用中は、本機からバッテリーを取りはずさないでください。
バッテリーを取りはずすと本機の電源が切れます。
- ・アクセスランプ(20ページ)が点灯しているときはバッテリーを取りはずさ
ないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- ・電源を入れて使用している間は、ACアダプターと接続していてもバッテリーへ
の充電はされません。
- ・ACアダプターと接続して使用していても、ご使用の条件によっては、補助的に
バッテリーの電源を使用する場合があります。
- ・USB給電中は、本体内の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなること
があります。

日付と時刻を設定する

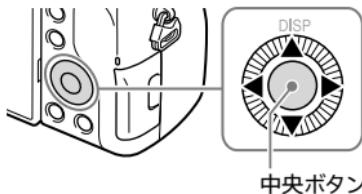
-
- 1 ON/OFF(電源)スイッチを「ON」にする。

電源が入る。

ON/OFF(電源)スイッチ



-
- 2 [実行]が選ばれていることを確認し、中央ボタンを押す。



-
- 3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、中央ボタンを押す。

-
- 4 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して設定する項目を選び、中央ボタンを押す。

-
- 5 ▲/▼/◀/▶を押す、またはホイールを回して希望の設定を選び、中央ボタンを押す。

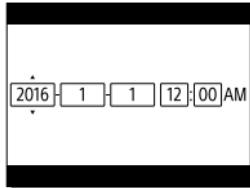
[日時]を設定する場合、真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

-
- 6 手順4、5を繰り返して、すべて設定し、[実行]を選んで中央ボタンを押す。
-

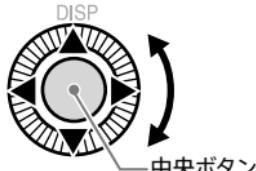
日付と時刻を確認する/合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、 (セットアップ) → [日時設定] を選び、日時設定画面を開いてください。

- 1 MENUボタンを押して、
 (セットアップ) → [日時設定]
を選び、日時設定画面を開く。



- 2 コントロールホイールの◀/▶、また
はホイールを回して、合わせたい
項目(年・月・日・時・分)を選ぶ。



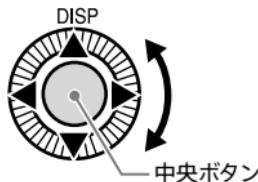
- 3 ▲/▼を押して、各項目を設定する。

- 4 現在の日時に設定し終えたら、中央ボタンを押す。

操作方法を確認する

コントロールホイールの使いかた

- コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。選んだ項目は中央ボタンを押すと決定されます。本書ではコントロールホイールの上下左右を押す動作を▲/▼/◀/▶で表現しています。
- ▲にはDISP(画面表示切換)が割り当てられています(40ページ)。DISPボタンを押すたびに表示内容が切り換わります。
- 撮影時の▼/◀/▶ボタンおよび中央ボタンにはお好みの機能を割り当てることができます(61ページ)。
- 再生時に◀/▶を押す、またはホイールを回すことで前/次の画像を表示することができます(76ページ)。

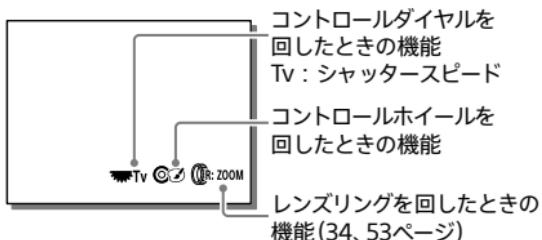


中央ボタン

コントロールダイヤルの使いかた



コントロールダイヤル

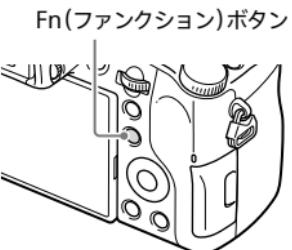


コントロールダイヤルを回して、撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。

Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ

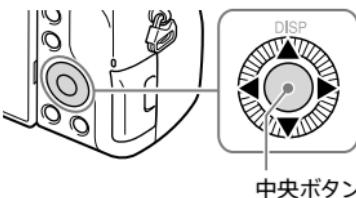
Fn(ファンクション)ボタンにはよく使う機能を12個まで登録しておくことができ、撮影時に各機能の設定を変更できます。

1 撮影画面でFn(ファンクション)ボタンを押す。



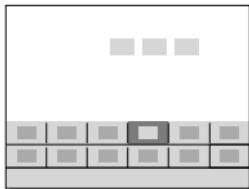
2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶で設定する機能を選ぶ。

- 登録できる機能の一覧と登録方法は61ページをご覧ください。



3 コントロールホイールを回して希望の設定を選び、中央ボタンを押す。

一部の機能は、コントロールダイヤルを回して微調整値の設定もできます。



専用画面で設定するには

手順2で、設定する機能を選んで中央ボタンを押すと、その項目設定の専用画面になります。操作ガイドに従って設定してください。

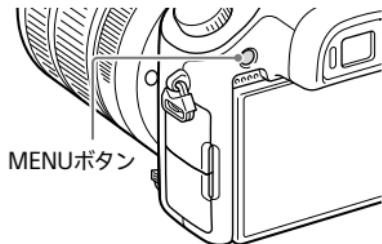


MENUボタンで選ぶ

撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する設定の変更や、機能の実行を行えます。

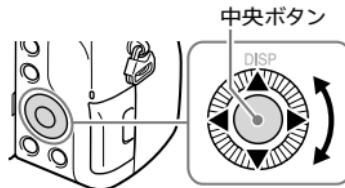
設定項目の一覧は85ページをご確認ください。

-
- 1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

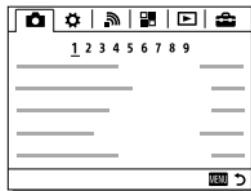


- 2 コントロールホイールを回したり▲/▼/◀/▶を押したりして設定したい項目を選び、中央ボタンを押す。

画面上部のアイコンを選んで◀/▶を押すと他のMENUへ移動できる。



-
- 3 設定値を選択して、中央ボタンを押して決定する。



カメラ内ガイドを見る

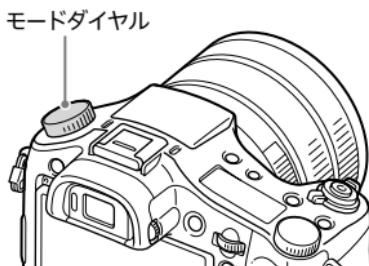
[カスタムキー(撮影)]で希望のボタンにカメラ内ガイドの機能を設定します。カメラ内ガイドでは、MENUの機能や設定に関する説明を表示します。

**1 MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [カスタムキー(撮影)]
→ 希望のボタン → [カメラ内ガイド]を選ぶ。**

- MENUボタンを押して、コントロールホイールで説明を見たい項目を選び、[カメラ内ガイド]を設定したボタンを押してください。
-

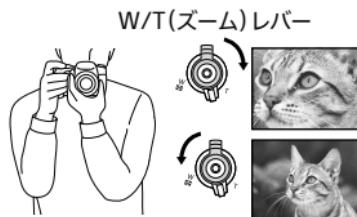
自動で最適な設定で撮る(オート撮影)

1 モードダイヤルを **AUTO**(オートモード)にする。



2 脇を締めて構え、構図を決める。

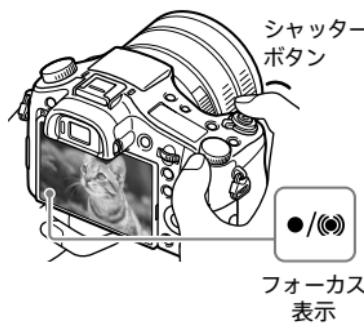
- W/T(ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。大きくズームしたい場合は、34ページをご覧ください。
- レンズに指がかかるないようにしてください。



静止画を撮る

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

- ピントが合うと「ピピッ」という音がして●または $\textcircled{○}$ が点灯する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、フォーカス表示が点滅します。
 - フラッシュは自動ではポップアップしません。
 - フラッシュを発光させて撮影するときは、 \textcircled{F} (フラッシュポップアップ)ボタンを押してフラッシュ部を上げてください(38ページ)。
 - ピントが合う最短の撮影距離(レンズ先端から被写体まで)はW側で約3 cm、T側で約72 cmです。
 - 本機では状況に応じて、自動でマクロ撮影になります。



4 シャッターボタンを深く押し込む。

- 撮影直後に、撮影した画像が表示されます。再生時のDISP設定で表示されます(40ページ)。シャッターボタンを半押しすると画像の表示を解除できます。

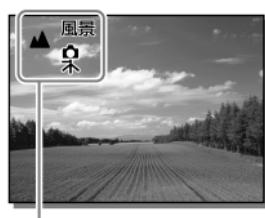
状況を自動判別して撮る(おまかせオート/ プレミアムおまかせオート)

モードダイヤルを**AUTO**(オートモード)にして、**i** (おまかせオート)または**i** + (プレミアムおまかせオート)で撮影すると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。動画撮影中もシーンを認識します。

1 被写体にカメラを向ける。

シーン認識マークがモニターに表示される。

人物(人物)、赤ちゃん(赤ちゃん)、夜景&人物(夜景&人物)、夜景(夜景)、逆光&人物(逆光&人物)、逆光(逆光)、風景(風景)、マクロ(マクロ)、スポットライト(スポットライト)、低照度(低照度)、三脚(三脚)、歩き(歩き)、動き(動き)、動き(明るい)、動き(暗い)



シーン認識マーク

歩き(歩き)は、動画撮影時にMENUボタン → **撮影設定** → [手ブレ補正]が[アクティブ]、または[インテリジェントアクティブ]に設定されているときのみ認識されます。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、シャッターボタンを深く押し込んで撮影する。

モードを切り換えるには

メニューからオート撮影の方法を選べます。

MENUボタン → **撮影設定** → [オートモード] → 希望の設定を選ぶ。

オート撮影の特徴

撮影モード	こんなときに使う
 (おまかせオート)	カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき
 (プレミアムおまかせオート)	カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき、特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影したいとき • 暗いシーンや逆光のシーンでは、複数枚撮影し重ね合わせ処理を行います。これにより記録に時間がかかることがあります。このとき、  (重ね合わせアイコン) が表示され、シャッター音が複数回聞こえる場合がありますが、記録される画像は1枚です。
 (プログラムオート)	ホワイトバランスやISOなど多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいとき • 絞り値とシャッタースピードはカメラが自動で設定します。

撮影のテクニック

- [プレミアムおまかせオート]で (重ね合わせアイコン) が表示されているときは、複数枚の撮影が終わるまでカメラを動かさないようにしてください。
- [プログラムオート]時にコントロールダイヤルを回すと、カメラが設定した適正露出のままシャッタースピードと絞りの組み合わせを変更できます (P* プログラムシフト)。

ご注意

- [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません (98ページ)。

ズームする

本機の光学ズームでは、画像を劣化させることなく25倍までズームします(35mm判換算焦点距離で24mmから600mm)。その他のズーム機能を使用すると、さらに高倍率でズームできます。

1 MENUボタン → (カスタム設定) → [ズーム設定] → 希望の設定を選ぶ。

光学ズームのみ：[ 画像サイズ]がLのときは、光学ズームのみを使用する。
[ 画像サイズ]がL以外のときは、光学ズーム倍率を超えて、トリミング処理により画質を劣化させずにズームする。(s \otimes スマートズーム)

入：全画素超解像ズーム：光学ズーム倍率、スマートズーム倍率を超えて、ほとんど画質を劣化させずにズームする(c \otimes)

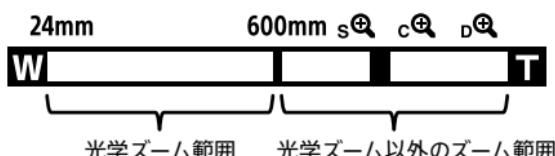
入：デジタルズーム：全画素超解像ズーム倍率を超えて、さらに高倍率でズームする(d \otimes)。ただし画質は劣化する。

2 後レンズリングを回す、またはW/T(ズーム)レバーをT側へ動かしてズームする。

- MENUボタン →  (カスタム設定) → [レンズリングの設定]で、ズーム機能を前レンズリングに割り当てることもできます(64ページ)。



ズームバーの表示について



ご注意

JP • [ 画像サイズ]が[RAW]、[RAW+JPEG]のときは光学ズームのみ使用できます。

W/T(ズーム)レバーのズームスピードを変える

W/T(ズーム)レバーによるズームの速度を設定します。

1 MENUボタン → ⚙(カスタム設定) → [ズームスピード] → 希望の設定を選ぶ。

標準：標準のスピードでズームする。

高速：速いスピードでズームする。ただし、動画記録中のズーム音が記録されやすくなる。

レンズリングのズーム設定を変える

レンズリングによるズーム操作の設定を変更できます。

1 MENUボタン → ⚙(カスタム設定) → [リングのズーム機能] → 希望の設定を選ぶ。

スタンダード：レンズリングを回転させると、なめらかにズームする。

クイック：レンズリングの回転量に応じた画角にズームする。ただし、動画記録中のズーム音が記録されやすくなる。

ステップ：一定の画角で段階的にズームする。

ズーム倍率

画像サイズによって、光学ズーム25倍(35mm判換算焦点距離で24mmから600mm)に組み合わされるズーム倍率は変わります。

[横縦比]が[3:2]のとき

ズーム設定 画像サイズ	光学ズームのみ (スマートズーム)	入：全画素超解像 ズーム	入：デジタルズーム
L:20M	—	2.0倍	4.0倍
M:10M	1.4倍	2.8倍	5.6倍
S:5.0M	2.0倍	4.0倍	8.0倍

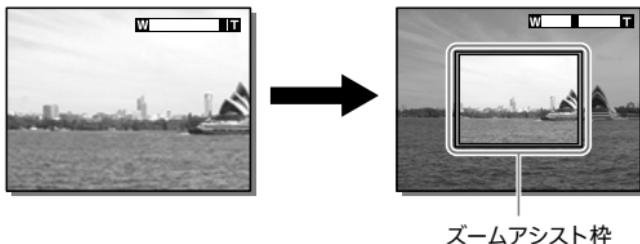
見失った被写体をすばやく見つける(ズームアシスト)

望遠側での撮影時に、一時的にズーム倍率を下げ、より広い範囲を表示します。見失った被写体をすばやく見つけ、構図を合わせやすくなります。

1 [ズームアシスト]が割り当てられたボタンを押し続ける。

ズーム倍率が下がり、撮影画面がズームアウト表示される。その際、ボタンを押す前の画角が枠で表示される(ズームアシスト枠)。

- あらかじめ、MENUボタン → (カスタム設定) → [カスタムキー(撮影)]でこの機能を希望のボタンに割り当ててください(61ページ)。



2 被写体がズームアシスト枠に収まるように構図を合わせ、ボタンを離す。

撮影のテクニック

- [ズームアシスト]が割り当てられたボタンを押したまま通常のズーム操作を行うと、ズームアシスト枠の大きさを変更することができます。ボタンを離すと、変更後のズームアシスト枠の画角までズーム倍率が移動します。
- MENUボタン →  (撮影設定) → [ズームアシスト範囲]で、ズームアウトする量を変更することができます(87ページ)。

ご注意

- ボタンを押したままシャッターボタンを押すと、ズーム倍率はズームアシスト枠の画角まで戻らず、ズームアシスト中の画角で撮影します。
- 動画撮影中にズームアシストを行う場合、記録される範囲は、ズームアシスト枠内ではなく、画面に表示されている範囲となります。また、ズーム音が記録されることがあります。

フラッシュを発光して撮る

1 (フラッシュポップアップ) ボタンを押して、フラッシュ発光部を上げる。

- フラッシュは自動ではポップアップしません。
- フラッシュを使用しない場合は、手でフラッシュ発光部を下げてください。

 (フラッシュポップアップ) ボタン



2 MENUボタン → (撮影設定) → [フラッシュモード] → 希望の設定を選ぶ。

 (発光禁止) : 発光しない。

 (自動発光) : 暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。

 (強制発光) : 必ず発光する。

 (スローシンクロ) : 必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

 (後幕シンクロ) : 露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

 (ワイヤレス) : 別売のワイヤレスフラッシュを使って、被写体に陰影を付けて立体感を出して撮れる。

- フラッシュが上がってない状態では、 (発光禁止)以外を選んでも発光しません。

ご注意

- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合は被写体から離れて撮影するか、ズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

下の表で○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

選択できないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影設定/その他設定						
i (おまかせオート)	○	○	○	×	×	×
i+ (プレミアムおまかせオート)	○	○	○	×	×	×
P (プログラムオート)	×	×	○	○	○	○
A (絞り優先)	×	×	○	○	○	○
S (シャッタースピード優先)	×	×	○	○	○	○
M (マニュアル露出)	×	×	○	○	○	○
(動画) *	○	×	×	×	×	×
HFR (ハイフレームレート) *	○	×	×	×	×	×
(スイングパノラマ) *	○	×	×	×	×	×
シーンセレクション		○	○	○	×	×
		○	×	○	×	×
		○	×	×	×	×
		×	×	×	○	×

* これらの撮影モードではフラッシュ撮影はできません。

ご注意

- モードダイヤルがMR(登録呼び出し)のときは、登録した設定によって選べるフラッシュモードが変わります。

モニター表示を変える(DISP)

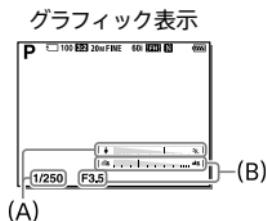
1 コントロールホイールのDISP →

希望のモードを選ぶ。

撮影時に選択できるモードはMENUボタン
→  (カスタム設定) → [DISPボタン]で設
定できます。



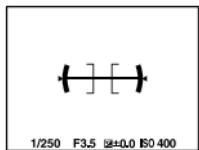
撮影時



(A)

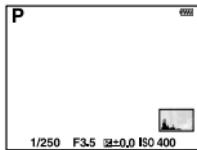


水準器

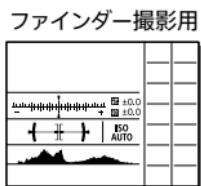


1/250 F3.5 ±0.0 ISO 400

ヒストограм



1/250 F3.5 ±0.0 ISO 400



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

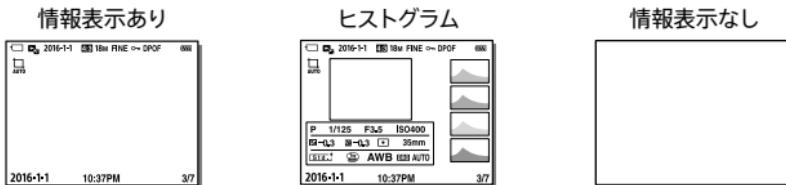
グラフィック表示：基本的な撮影情報を表示。シャッタースピードと絞り値をグラフィカルに表現し露出の仕組みを分かりやすくイメージ化して表現する。シャッタースピードインジケーター(A) / 絞りインジケーター(B)のバーが現在の位置を指す。

水準器：カメラの傾きを示す指標を表示。水平状態のときは緑色に変わる。

ヒストограм：画像の明暗をグラフ(ヒストograms)で表示。

ファインダー撮影用：Fnボタンを押すと、変更したい項目をダイレクトに操作できます。コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押して設定する機能を選び、コントロールホイールを回して希望の設定にしてください(クイックナビ)。

再生時



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

情報表示あり：撮影時の情報を表示する。

ヒストグラム：撮影時の情報とヒストグラムを表示する。

情報表示なし：撮影時の情報を表示しない。

- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します。(白とび黒つぶれ警告)
- 再生時の設定は、オートレビューでも反映されます。

ご注意

- 画面上の補助線(静止画撮影時のグリッドラインや動画撮影時のマーカー)は DISPを押しても消せません。MENUボタン → (カスタム設定) → [グリッドライン] または [マーカー表示] で設定を変えてください。

画像のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできますが、ファイルサイズが大きくなります。画像サイズを小さくすると、ファイルサイズも小さくなりたくさん撮影できます。

1 MENUボタン →  [撮影設定] → [□画像サイズ] または [パノラマ：画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

- 横縦の比率は、MENUボタン →  [撮影設定] → [□横縦比] で選びます。

画像サイズ ([□横縦比] が [3:2] のとき)		用途例
L:20M	5472 × 3648画素	A3ノビサイズまでの印刷
M:10M	3888 × 2592画素	A3サイズまでの印刷
S:5.0M	2736 × 1824画素	L/2L/A4サイズまでの印刷

画像サイズ ([□横縦比] が [4:3] のとき)		用途例
L:18M	4864 × 3648画素	パソコンでの表示
M:10M	3648 × 2736画素	
S:5.0M	2592 × 1944画素	
VGA	640 × 480画素	Eメールに添付

画像サイズ ([□横縦比] が [16:9] のとき)		用途例
L:17M	5472 × 3080画素	ハイビジョンテレビでの再生
M:7.5M	3648 × 2056画素	
S:4.2M	2720 × 1528画素	

画像サイズ ([ 横縦比] が [1:1] のとき)		用途例
L:13M	3648 × 3648画素	中判カメラのような構図での撮影
M:6.5M	2544 × 2544画素	
S:3.7M	1920 × 1920画素	

パノラマ：画像サイズ	説明
標準	上下：3872×2160 左右：8192×1856
ワイド	上下：5536×2160 左右：12416×1856

ご注意

- [画質] が [RAW]、[RAW+JPEG] のとき、RAW画像の画像サイズはL相当となります。
- [16:9] や [スイングパノラマ] で撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることができます。

画質を選ぶ(RAW/JPEG)

1 MENUボタン → (撮影設定) → [□画質] → 希望の設定を選ぶ。

RAW：デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。

- ・パソコンでの加工にはImage Data Converterを使用してください(81ページ)。

RAW+JPEG：RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像というように、両方の画像を記録したい場合に適している。JPEGの画質は[ファイン]になる。

エクストラファイン / ファイン / スタンダード：画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。[エクストラファイン]、[ファイン]、[スタンダード]の順で圧縮率が大きくなり、1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

ご注意

- ・ [RAW]または[RAW+JPEG]のとき、以下の機能は使用できません。
 - 光学ズーム以外のズーム
 - [オートHDR]
 - [ピクチャーエフェクト]
 - [□オートフレーミング]
 - [□日付書き込み]
 - [マルチショットNR]
 - [□高感度NR]
 - [□美肌効果]
- ・ [RAW]または[RAW+JPEG]の場合はデータ量が多いため、1枚のメモリーカードに記録できる枚数がJPEG形式より少なくなります。

撮影モードを変える(モードダイヤル)

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを設定します。

1 モードダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。



本機には、以下の撮影モードがあります。

AUTO (オート モード) (32)	i ⁺ (おまかせ オート)	カメラまかせでシーン認識をして撮影する。
P (プログラムオート) (33)	i ⁺ (プレミアム おまかせオート)	カメラまかせでシーン認識をして撮影する。特に暗い シーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影できる。
A (絞り優先) (47)		露出(シャッタースピードと絞り)は自動設定される。 FnやMENUで多彩な機能を設定できる。
S (シャッタースピード優先) (48)		背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。
M (マニュアル露出) (49)		シャッタースピードと絞りを手動で設定して、好みの 露出で撮影できる。
MR (登録呼び出し) (60)		あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの 設定を呼び出して撮影できる。
■ (動画) (70)		動画撮影に関するモードや設定の変更ができる。
HFR (ハイフレームレート) (73)		記録フォーマットより高いフレームレートで撮影する ことで、なめらかなスーパースロー映像を記録できる。
□ (スイングパノラマ)		画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
SCN (シーンセレクション) (46)		撮影条件に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮 影する。

場面に合った撮影モードを使う (シーンセレクション)

1 モードダイヤルをSCN(シーンセレクション)にする。

2 コントロールダイヤルを回して希望のシーンを選ぶ。

- ・[モードダイヤルガイド]が[切]の場合は、シーンを選択する画面が表示されません。

⌚(ポートレート)：背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。

※(スポーツ)：高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。

✿(マクロ)：花などに近づいて撮影する。

▲(風景)：風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。

◐(夕景)：夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。

☽(夜景)：暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。

♪(手持ち夜景)：三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。

♪(夜景ポートレート)：夜景を背景に手前の人物を撮る。フラッシュ発光部を上げて使う。

((●))(人物ブレ軽減)：室内で人物撮影する場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録する。

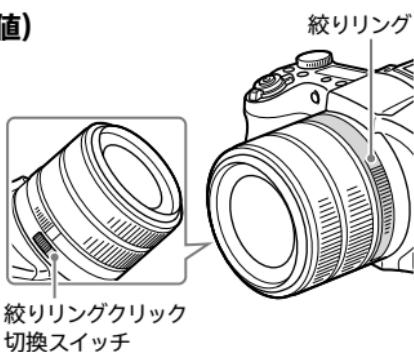
絞りとシャッタースピードを好みの設定にする

背景のぼかし具合を調節して撮る(絞り優先)

ピントの合う範囲や、背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

1 モードダイヤルをA(絞り優先)にする。

2 絞りリングを回して、絞り値(F値)
の設定値を選ぶ。



3 シャッターボタンを押す。

絞りについて

F値を小さくする(絞りを開ける)と、ピントの合う範囲は前後に狭くなり、背景をぼかして、被写体をくっきりと表現できます。



F値を大きくする(絞りを閉じる)と、ピントの合う範囲は前後に広がり、風景の広がりを表現できます。F値を大きくしそすぎると、回折現象により解像感が損なわれます。解像感を優先する場合は、F2.4～F8での撮影をおすすめします。



撮影のテクニック

- 絞りリングクリック切換スイッチで、絞りリング操作時の感触を変更できます。静止画撮影時は「ON」に、動画撮影時は「OFF」にしてください。

ご注意

- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

絞りリングについて

焦点距離によって開放F値が変化します。絞りリングで開放F値よりも小さい値に設定しても、開放F値以上に絞りを開けることはできません。正しいF値はモニターの設定値表示で確認してください。

動くものの表現を変えて撮る(シャッタースピード優先)

シャッタースピードを手動で調節できます。

1 モードダイヤルをS(シャッタースピード優先)にする。

2 コントロールダイヤルを回して、シャッタースピードの設定値を選ぶ。

3 シャッターボタンを押す。

シャッタースピードについて

シャッタースピードを速くすると、走っている人や車、波しうきなどの動きのあるものが止まって見えます。



シャッタースピードを遅くすると、川の流れなどの軌跡が残り、より自然な流動感のある画像になります。



ご注意

- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

思い通りの露出で撮る(マニュアル露出)

シャッタースピードと絞り(F値)を調節して、好みの露出で撮影します。

1 モードダイヤルをM(マニュアル露出)にする。

2 絞り値(F値)を選ぶときは絞りリングを回し、シャッタースピードを選ぶときはコントロールダイヤルを回す。

- [ISO感度]が[ISO AUTO]以外の場合、設定した露出と本機が判断した適正露出の差がモニター上のMML(メータードマニュアル)で確認できます。

3 シャッターボタンを押す。

ご注意

- 設定後にメータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- [ISO感度]を[ISO AUTO]に設定したときは、設定した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるようにISO感度が変化します。メータードマニュアルは表示されません。適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度がJP点滅します。

BULB(バルブ)撮影で動きの軌跡を撮る

シャッタースピードの設定で、[BULB]と表示されるまで
コントロールダイヤルを左に回してください。シャッターボタンを押し
続けている間撮影します。

- 花火の光が尾を引くような写真や、星の軌跡の撮影に適しています。
- 画像がブレやすくなるため、三脚や、シャッターボタンのロック機能を
持つ、マルチ/マイクロUSB端子対応リモートコマンダー(別売)のご使
用をおすすめします。

ピントを合わせる

ピント合わせの方法を選ぶ

1 フォーカスマードダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。

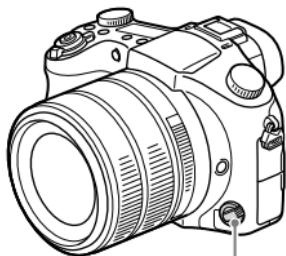
S(シングルAF)：ピントが合った時点でピントを固定する。止まっているものの撮影に適している。

C(コンティニュアスAF)：シャッターボタン半押しの間、ピントを合わせ続ける。動いているものの撮影に適している。

DMF(ダイレクトマニュアルフォーカス)：手動によるピント合わせとオートフォーカスを組み合わせることができる。

MF(マニュアルフォーカス)：手動でピントを合わせる。

- 手動でピントを合わせるときは、DMFまたはMFを選び、レンズリングを回します(53ページ)。



ご注意

- [コンティニュアスAF]のときは、シャッターボタン半押しの間はピントを合わせ続けるため画像が揺らぎますが、故障ではありません。
- [コンティニュアスAF]では、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

ピントを合わせるエリアを選ぶ(フォーカスエリア)

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使用してください。静止画撮影、動画撮影は同じ設定が反映されます。

1 MENUボタン →  (撮影設定) → [フォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

 (ワイド)	モニター全体を基準に、自動でピントを合わせる。
 (中央)	常に中央部のフォーカスエリアでピントを合わせる。
 M (フレキシブルスポット)	モニター上の好きなところに測距枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。
 (拡張フレキシブルスポット)	フレキシブルスポットの周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周辺のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。
   M  (ロックオンAF)	シャッターボタンを半押しすると、選択されたAFエリアから被写体を追尾する。 フォーカスエリア設定画面でロックオンAFにカーソルを合わせて、◀/▶でロックオンAFの開始エリアを変更できる。 追尾開始エリアをフレキシブルスポットまたは拡張フレキシブルスポットにすると、好きなところに追尾開始エリアを移動することもできる。

撮影のテクニック

- [フォーカスエリア]が[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときに、[フォーカススタンダード]が割り当てられているボタンを押すと、コントロールホイールの▲/▼/◀/▶で測距枠の位置を変更しながら撮影できます。コントロールホイールを使って撮影設定などを変更する場合は、中央ボタンを押してください。
- [ワイド]で被写体にピントが合わない場合は、[中央]にしてピントを合わせたい被写体に測距枠を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを固定してください。その後シャッターボタンを半押ししたまま撮りたい構図に戻して撮影してください。(フォーカスロック)

ご注意

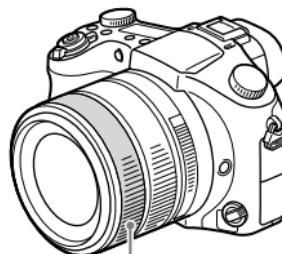
- [ロックオンAF]はフォーカスマードが[コンティニュアスAF]のときのみ選べます。
- モードダイヤルが~~REC~~(動画)になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[ロックオンAF]は選択できません。
- 全画素超解像ズーム・デジタルズーム・スマートズーム領域では、画面全体を使ってピントを合わせることがあり、その際には点線の四角い枠が全体に表示されます。
- 測距枠の移動中は、コントロールホイールの▲/▼/◀/▶、またはコントロールホイールとカスタムボタン3に割り当てられた機能を実行できません。

ピントを手動で好みの位置に合わせる (マニュアルフォーカス)

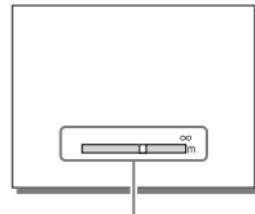
1 フォーカスマードダイヤルを回して、DMFまたはMFを選ぶ。

2 前レンズリングを回してピントを調整する。

- MENUボタン →  (カスタム設定) → [レンズリングの設定]で、フォーカス機能を後レンズリングに割り当てる 수도できます (64ページ)。



前レンズリング



ピントを合わせる距離

ご注意

- フォーカスモードを変えると、手動で設定したフォーカスの距離は解除されます。

DMFを使ってピントを合わせる

DMFでは以下のように、手動によるピント調整とオートフォーカスを組み合わせることができます。

- オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動でピントを微調整すると、厳密なピント合わせをしたい被写体などに有効です。シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカス機能が割り当てられたレンズリングを回します。
- あらかじめ手動でピント調整したあと、オートフォーカスでピント調整できます。奥の被写体にピントを合わせたいとき、オートフォーカスでは手前にあるものへピントが合ってしまうような場合に有効です。

撮影のテクニック

- [MFアシスト]を使うと、マニュアルフォーカスやDMFのピントの調整時に、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくなります(89ページ)。拡大表示中に中央ボタンを押すと拡大倍率を変更できます。
- [ピギングレベル]を使うと、マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります(90ページ)。

AF/MFコントロール

撮影中にカメラのホールディングを崩すことなく、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- ☀(カスタム設定) → [カスタムキー(撮影)]で希望のキーにこの機能を割り当てるすることができます(61ページ)。

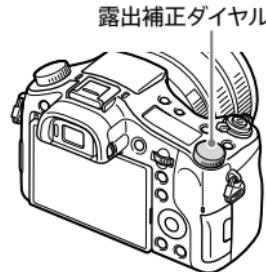
明るさを調整する(露出補正)

通常の撮影設定では、露出が自動的に設定されます(自動露出)。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると、画像全体を明るく、-側に補正すると、画像全体を暗くできます(露出補正)。

1 露出補正ダイヤルを回す。

+ (オーバー) 側：画像が明るくなる。

- (アンダー) 側：画像が暗くなる。



MENUで設定する

露出補正ダイヤルが0のときに、-3.0EV～+3.0EVの間で設定できます。

MENUボタン → (撮影設定) → [露出補正] → 希望の設定を選ぶ。

ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、露出補正できません。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
 - [マニュアル露出]で[ISO感度]が[ISO AUTO]以外

ISO感度を選ぶ

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)、 (動画)またはHFR(ハイフレームレート)にする。

2 MENUボタン →  (撮影設定) → [ISO感度] → 希望の設定を選ぶ。

 (マルチショットNR) : 連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。

▶で設定画面を表示して、▲/▼で希望の数値を選ぶ。

 (ISO AUTO) : カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。▶で設定画面を表示して、ISO AUTO時の上限値、下限値を設定することもできる。

ISO 64～ISO 12800 : お好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大きいほど高感度になる。

ご注意

- ISO 100未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲(ダイナミックレンジ)が少し狭くなります。
- 静止画撮影時、動画撮影時、またはHFR撮影時で、選べる設定が異なります。
- [マルチショットNR]に設定しているときは、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。また、フラッシュは発光しません。
- [ピクチャープロファイル]が[切]以外のとき、[マルチショットNR]は設定できません。

連続して撮る(連写)

1枚撮影、連続撮影、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

1 MENUボタン → (撮影設定) → [ドライブモード] → 希望のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

 (1枚撮影) : 通常の撮影方法。

 (連続撮影) : シャッターボタンを押している間、連続して撮影する。

 (速度優先連続撮影) : シャッターボタンを押している間、高速で連続撮影する。ピントは1枚目で固定される。

BRK C (連続ブラケット) : 露出を段階的にずらして、合計3枚、5枚または9枚の画像を連続して記録する。露出の段数は設定できる。

BRK S (1枚ブラケット) : 露出を段階的にずらして、合計3枚、5枚または9枚の画像を1枚ずつ撮影する。

BRK WB (ホワイトバランスブラケット) : 選択されているホワイトバランス、色温度・カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。[Lo] または [Hi] からずらす値の幅を選ぶ。

BRK DRO (DROブラケット) : Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。[Lo] または [Hi] からずらす値の幅を選ぶ。

ご注意

- 以下のときは、連続撮影、ブラケット撮影ができません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - 撮影モードが[シーンセレクション]の[スポーツ]以外*
 - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
 - [ISO感度]が[マルチショットNR]
 - [スマイルシャッター]
 - 連続撮影は記録処理に時間がかかります。記録処理の間はモニターに「処理中」と表示されます。
- * [シーンセレクション]が[スポーツ]の場合もブラケット撮影はできません(98ページ)。

ブラケット撮影の設定を変更するには

MENUボタン →  (撮影設定) → [ブラケット設定]を選ぶと、ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定できます。

セルフタイマーで撮る

1 MENUボタン → (撮影設定) → [ドライブモード] → 希望のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

 (セルフタイマー) : 5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に入るときに、2秒セルフタイマーは撮影の際のカメラブレを和らげるのに使う。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と電子音が鳴り、撮影が開始される。中止するにはもう一度シャッターボタンを押す。

 (セルフタイマー(連続)) : シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後に連続撮影する。3枚または5枚から撮影枚数を選ぶ。

セルフタイマーを解除するには

MENUボタン →  (撮影設定) → [ドライブモード] → □ (1枚撮影)を選んでください。

ブラケット撮影時のセルフタイマーの設定をするには

[ドライブモード]でブラケットを選択して、MENUボタン →  (撮影設定) → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー]を選んでください。

ご注意

- 以下のときは、セルフタイマーを使えません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - 撮影モードが[シーンセレクション]の[スポーツ]
 - [スマイルシャッター]

撮影機能を自分好みにカスタマイズする

登録した設定を呼び出して撮影する(MR)

よく使うモードやカメラの設定を本機またはメモリーカードに登録でき、モードダイヤルで呼び出せます。

設定を登録する

- ① 本機を登録したい設定にしておく。
 - 以下の項目を登録できます。
モードダイヤルで設定する撮影モード/シャッタースピード/ (撮影設定)項目/光学ズーム倍率
 - プログラムシフト、マニュアルフォーカスの設定は登録できません。
- ② MENUボタン →  (撮影設定) → [登録] → コントロールホイールの◀/▶で希望の番号を選ぶ → 中央ボタンで決定。
 - 本機に設定を登録する場合は「1」～「3」、メモリーカードに設定を登録する場合は「M1」～「M4」から希望の番号を選んでください。

登録した設定を呼び出す

- ① モードダイヤルをMR(登録呼び出し)にする。
 - メモリーカードに登録された設定を呼び出すには、コントロールホイールの◀/▶で呼び出したい番号を選んでください。
 - MENUボタン →  (撮影設定) → [登録呼び出し]で呼び出すこともできます。
 - 登録した内容を変更するには、希望する設定にして同じ番号に再登録してください。

Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える

- 1 MENUボタン →  (カスタム設定) →
 [ファンクションメニュー設定] → [ファンクション上段1] ~
 [ファンクション下段6] → 希望のモードを選ぶ。

割り当てられる機能

ライブモード	ブラケット時のセルフタイマー	フラッシュモード
調光補正	フォーカスエリア	露出補正
ISO感度	ISO AUTO低速限界	測光モード
ホワイトバランス	DRO/オートHDR	クリエイティブスタイル
撮影モード	ピクチャーエフェクト	ピクチャープロファイル
HFRフレームレート	中央ボタン押しロックオンAF	顔検出/スマイルシャッター
オートデュアル記録	<input checked="" type="checkbox"/> 美肌効果	<input checked="" type="checkbox"/> オートフレーミング
<input checked="" type="checkbox"/> 画像サイズ	<input checked="" type="checkbox"/> 横縦比	<input checked="" type="checkbox"/> 画質
<input checked="" type="checkbox"/> 手ブレ補正	<input checked="" type="checkbox"/> 手ブレ補正	録音レベル
ゼブラ	グリッドライン	<input checked="" type="checkbox"/> マーカー表示
音声レベル表示	ピーキングレベル	ピーキング色
ガンマ表示アシスト	未設定	

カスタムキーの設定機能を変える

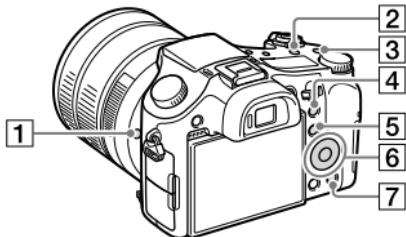
撮影時または再生時の機能を希望のボタンに割り当することができます。

- 1 MENUボタン →  (カスタム設定) → [カスタムキー(撮影)]
 または[カスタムキー(再生)]を選ぶ。

2 選択画面で機能を割り当てるボタンを選び、中央ボタンを押す。

- ・[カスタムキー(撮影)]と[カスタムキー(再生)]で機能を割り当てるボタンが異なります。
- ・以下のボタンに希望の機能を割り当てられます。

- ① フォーカスホールドボタン
- ② カスタムボタン2
- ③ カスタムボタン1
- ④ AELボタン
- ⑤ Fn/ボタン
- ⑥ コントロールホイール/
中央ボタン/左ボタン/
右ボタン/下ボタン
- ⑦ カスタムボタン3



3 割り当てる機能を選び、中央ボタンを押す。

- ・割り当てるボタンによって割り当てる機能が異なります。



[カスタムキー(撮影)]で割り当てる機能

フォーカススタンダード ^{1)[2]}	ライブモード	プラケット時のセルフタイマー
フラッシュモード	調光補正	フォーカスエリア
露出補正	ISO感度	ISO AUTO低速限界
測光モード	ホワイトバランス	DRO/オートHDR
クリエイティブスタイル	ピクチャーエフェクト	ピクチャープロファイル
HFRフレームレート	顔検出/スマイルシャッター	オートデュアル記録
美肌効果	オートフレーミング	手ブレ補正
手ブレ補正	録音レベル	画像サイズ
横縦比	画質	カメラ内ガイド ³⁾
登録	押す間AEL ²⁾	再押しAEL
押す間スポットAEL ²⁾	再押しスポットAEL	押す間AF/MFコントロール ²⁾
再押しAF/MFコントロール	中央ボタン押しロックオンAF	瞳AF ²⁾

フォーカスホールド ²⁾⁴⁾	ライトモニタリング ⁵⁾	スマートテレコンバーター
ズームアシスト ²⁾	ピント拡大	モニターミュート ⁶⁾
MOVIE(動画)	ゼブラ	グリッドライン
マーカー表示切換	音声レベル表示	ピーキングレベル
ピーキング色	FINDER/MONITOR切換	スマートフォン転送
ダウンロードアプリ	登録アプリ一覧	モニター明るさ
ガンマ表示アシスト	TC/UB表示切換	未設定

¹⁾ [フォーカスエリア]と[中央ボタン押しロックオンAF]の設定によってボタンを押したときにできることが変わります。

- [フォーカスエリア]が[フレキシブルスポット]または
[拡張フレキシブルスポット]のときボタンを押すと、測距枠の位置を変更できます。静止画撮影時には、測距枠の位置を変更しながら静止画を撮影することができます。
 - [フォーカスエリア]が[ワイド]または[中央]で、
[中央ボタン押しロックオンAF]が[入]のときボタンを押すと、
[中央ボタン押しロックオンAF]が起動します。
- ²⁾ 左ボタン/右ボタン/下ボタンには設定できません。
- ³⁾ 中央ボタン/左ボタン/右ボタン/下ボタンには設定できません。
- ⁴⁾ ボタンを押している間、フォーカスを固定して撮影します。
- ⁵⁾ 夜空などの暗い場所でも、被写体を確認しやすくする機能です。
- ⁶⁾ モニターの表示を消すことができます。

コントロールホイールには、下記が設定できます。

ISO感度/ホワイトバランス/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/
未設定

[カスタムキー(再生)]で割り当てられる機能

FINDER/MONITOR切換	スマートフォン転送	ダウンロードアプリ
登録アプリ一覧	削除	一覧表示
回転	⊕拡大	動画から静止画作成
TC/UB表示切換	カスタムキー(撮影)に従う ¹⁾	

¹⁾ [カスタムキー(撮影)に従う]を選択すると、[カスタムキー(撮影)]で選択した機能が再生時にも割り当てられます。

前レンズリング/後レンズリングの機能をカスタマイズする

2つのレンズリングを使って、ズーム機能とフォーカス機能をより直観的に行うことができます。さらに、操作しやすいようにレンズリングの回転方向をお好みの設定にすることもできます。

1 MENUボタン →  (カスタム設定) →

[レンズリングの設定] → 希望の設定
を選ぶ。

 FRONT フォーカス  REAR ズーム：前レンズリングに
フォーカス機能、後レンズリングにズーム機
能を割り当てる。

 FRONT ズーム  REAR フォーカス：前レンズリングに
ズーム機能、後レンズリングにフォーカス機
能を割り当てる。

- MENUボタン →  (カスタム設定) → [「フォーカスリング操作方向」または
[「ズームリング操作方向」]で、レンズリングによるフォーカス操作またはズーム
操作の回転方向を設定することができます。
- ズーム操作の設定を変更するには、35ページをご覧ください。



シャッター方式を選ぶ

メカシャッター方式と電子シャッター方式のどちらで撮影するか設定することができます。

1 MENUボタン → ⚙(カスタム設定) → [▣シャッター方式] → 希望の設定を選ぶ。

オート：撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わる。

メカシャッター：メカシャッター方式のみで撮影する。

電子シャッター：電子シャッター方式のみで撮影する。

各設定値の、フラッシュ撮影の可否、シャッタースピード、シャッター音の有無は以下のとおりです。

[▣]シャッター方式	フラッシュ	シャッタースピード	シャッター音
メカシャッター	<input type="radio"/>	BULB～1/2000秒 ^{*2}	メカシャッター音と電子シャッター音 ^{*3}
電子シャッター	<input type="radio"/> *1	30秒～1/32000秒 ^{*2}	電子シャッター音 ^{*3}

*¹ フラッシュ撮影時は、シャッタースピードは1/100秒以下に制限されます。

*² シャッタースピードの設定範囲は撮影モードによって異なります。

*³ 電子音を消したいときは[電子音]の設定を[切]にしてください。

撮影のテクニック

- 以下の場合は、[**シャッター方式**]を[オート]または[電子シャッター]に設定してください。
 - 快晴の屋外、ビーチ、雪山など明るい環境下で高速シャッターで撮影するとき
 - 連続撮影および速度優先連続撮影の撮影速度を上げて撮影したいとき
- 以下の場合は、[**シャッター方式**]を[オート]または[メカシャッター]に設定してください。
 - シャッタースピードを1/100秒より速くしてフラッシュ撮影したいとき
 - 被写体の動きやカメラ本体の動きによる画像の歪みが気になるとき

ご注意

- 電子シャッター方式で撮影すると、被写体の動きやカメラ本体の動きによって画像に歪みが起こることがあります。
- 電子シャッター方式で撮影すると、瞬間的な光(他のカメラのフラッシュ発光など)や蛍光灯などのちらつきのある照明下で撮影した場合、帯状の明暗が撮影される場合があります。
- [**シャッター方式**]を[電子シャッター]に設定していても、電源オフ時、まれにシャッター音が鳴る場合がありますが、故障ではありません。
- 以下のときは、[**シャッター方式**]を[電子シャッター]に設定していても、メカシャッターが動作します。
 - [ホワイトバランス]が[カスタムセット]
 - [個人顔登録]
- [**シャッター方式**]を[電子シャッター]に設定しているとき、以下の機能は使用できません。
 - 長秒時NR
 - バルブ撮影
- PlayMemories Camera Appsでダウンロードした機能を使って撮影するとき、[**シャッター方式**]の設定は解除されることがあります。

動画を撮る

1 MOVIE(動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

- W/T(ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。
- シャッタースピードや絞りを希望の値に設定したいときは、モードダイヤルを  (動画)にしてください(70ページ)。



2 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

- 動画記録中にズームなどの操作をすると、カメラの動作音や操作音が記録されます。特に[ズームスピード]を[高速]に設定している場合や[リングのズーム機能]を[クイック]に設定している場合、動画記録中のズーム音が記録されやすくなります(35ページ)。また、[ズームアシスト]の操作音や動画撮影終了時のMOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 連続撮影可能時間は出荷時設定を使い約25°Cで撮影した場合、1回につき最大約29分です。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります(5ページ)。
- MENUボタン →  (撮影設定) → [音声記録] → [切]にすると、音声を記録しないようにできます(89ページ)。

MOVIEボタンについて

お買い上げ時の設定では、[MOVIE(動画)ボタン]が[常に有効]に設定されているため、HFR(ハイフレームレート)を除くすべての撮影モードから動画撮影を開始できます。

MENUボタン →  (カスタム設定) → [MOVIE(動画)ボタン] → [動画モードのみ有効]にすると、モードダイヤルが  (動画)以外のときはMOVIEボタンを押しても動画は撮影されません。

動画の記録方式/画質を選ぶ

1 MENUボタン →  (撮影設定) → [■記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

記録方式	特徴	
XAVC S 4K	4K解像度(3840×2160)で記録できます。	ソフトウェア PlayMemories Homeでパソコンに保存できます。
XAVC S HD	AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。このフォーマットで記録できるメモリーカードについては、104ページをご覧ください。	ソフトウェア PlayMemories Homeでパソコンに保存できます。
AVCHD	パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。	ソフトウェア PlayMemories Homeでパソコンに保存または対応メディアを作成できます。
MP4	スマートフォンでの再生やネットワークへのアップロード、Web公開が簡単に行えます。	ソフトウェア PlayMemories Homeでパソコンに保存できます。

2 MENUボタン →  (撮影設定) → [■記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

- ・ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。
- ・各記録設定時の最大記録時間の目安は106ページをご覧ください。

[■記録方式] が[XAVC S 4K] のとき

■記録設定	ビットレート	説明
30p 100M	約100 Mbps	3840×2160(30p)で撮影する。
30p 60M	約60 Mbps	3840×2160(30p)で撮影する。
24p 100M	約100 Mbps	3840×2160(24p)で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。
24p 60M	約60 Mbps	3840×2160(24p)で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。

[記録方式] が[XAVC S HD] のとき

記録設定	ビットレート	説明
60p 50M	約50 Mbps	1920×1080(60p)で撮影する。
30p 50M	約50 Mbps	1920×1080(30p)で撮影する。
24p 50M	約50 Mbps	1920×1080(24p)で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。
120p 100M	約100 Mbps	1920×1080(120p)のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できます。 • 対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。
120p 60M	約60 Mbps	1920×1080(120p)のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できます。 • 対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。

[記録方式] が[AVCHD] のとき

記録設定	ビットレート	説明
60i 24M(FX)	最大24 Mbps	1920×1080(60i)で撮影する。
60i 17M(FH)	平均約17 Mbps	1920×1080(60i)で撮影する。
60p 28M(PS)	最大28 Mbps	1920×1080(60p)で撮影する。 • 撮影した動画を扱うには対応機器が必要です。
24p 24M(FX)	最大24 Mbps	1920×1080(24p)で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。
24p 17M(FH)	平均約17 Mbps	1920×1080(24p)で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。

[記録方式] が[MP4] のとき

記録設定	ビットレート	説明
1920×1080 60p 28M	平均約28 Mbps	1920×1080(60p)で撮影する。
1920×1080 30p 16M	平均約16 Mbps	1920×1080(30p)で撮影する。
1280×720 30p 6M	平均約6 Mbps	1280×720(30p)の小さいファイルサイズで撮影する。

ご注意

- [■記録設定]を[60p 28M(PS)]または[60i 24M(FX)]、[24p 24M(FX)]にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。
- HFR撮影時の記録設定は、73ページをご覧ください。

絞りとシャッタースピードを設定して動画を撮る

絞りやシャッタースピードを設定して、背景のぼかし具合や流動感を思い通りにコントロールした動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを■(動画)にする。

2 MENUボタン → ■(撮影設定) → [動画] → 希望のモードを選ぶ。

■P (プログラムオート)(33)：露出は本機が自動設定する。

■A (絞り優先)(47)：絞りを手動設定する。

■S (シャッタースピード優先)(48)：シャッタースピードを手動設定する。

■M (マニュアル露出)(49)：露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定する。

3 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影する。

ご注意

- 動画撮影時に絞りリングを操作するときは、絞りリングクリック切換スイッチを「OFF」にしてください。絞りリングクリック切換スイッチを「ON」にしたまま動画撮影中に絞りを変更すると、操作音が記録されます(47ページ)。

動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)

動画撮影中にシャッターボタンを押すと、動画撮影を中断することなく静止画も撮影できます。

ご注意

- 記録設定やモード設定により、デュアル記録できない場合があります。
- 使用するメモリーカードによっては静止画の記録に時間がかかることがあります。
- シャッターボタンの操作音が記録されることがあります。
- 静止画の画像サイズ/画質はMENUボタン →  (撮影設定) → [画像サイズ(デュアル記録)] / [画質(デュアル記録)] で選べます。
- デュアル記録時のフラッシュ撮影はできません。

手ブレを抑えて動画を撮る

動画撮影時も手ブレ補正を利用して撮影できます。

1 MENUボタン → (撮影設定) → [手ブレ補正] → 希望の設定を選ぶ。

インテリジェントアクティブ：[アクティブ]よりも強い手ブレ補正を得る。

アクティブ：強い手ブレ補正を得る。

スタンダード：比較的安定した状態で、手ブレ補正を行い撮影する。

切：手ブレ補正を行わない。

ご注意

- [手ブレ補正]の設定を変更すると、画角が変わります。

あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロファイル)

撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できます。

設定などの詳細はヘルプガイド(12ページ)をご覧ください。

ピクチャープロファイルの内容を変更する

[ガンマ]や[ディテール]などを調節して好みの画質設定を作れます。設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

**1 MENUボタン →  (撮影設定) → [ピクチャープロファイル]
→ 変更したいプロファイルを選ぶ。**

2 コントロールホイールの▶を押して、項目一覧に移動する。

3 ▲/▼で、変更したい項目を選ぶ。

4 ▲/▼で希望の設定値を選び、中央ボタンを押す。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

MENUボタン →  (撮影設定) → [ピクチャープロファイル] → [リセット] を選ぶ。

撮影のテクニック

- 本機はS-Logで撮影することができます。また、[ガンマ表示アシスト]を使うことで、通常のガンマと同等のコントラストでS-Log画像をファインダーやモニターに表示できます。詳しくはヘルプガイド(12ページ)をご覧ください。

スーパースローモーション撮影をする (ハイフレームレート撮影)

記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することによって、なめらかなスーパースローモーション映像を記録できます。

1 モードダイヤルをHFR(ハイフレームレート)にする。

HFR設定画面が表示される。

2 MENUボタン → (撮影設定) → [HFRハイフレームレート設定] を選び、[HFR記録設定]、[HFRフレームレート]、[HFR優先設定]、[HFR録画タイミング]を希望の設定にする。

HFR記録設定：記録する動画のフレームレートを[60p 50M]、[30p 50M]、[24p 50M]から選ぶ。

HFRフレームレート：撮影時のフレームレートを[240fps]、[480fps]、[960fps]から選ぶ。

HFR優先設定：画質を優先する[画質優先]か、撮影時間が長くなる
[撮影時間優先]かを選ぶ。

HFR録画タイミング：MOVIE(動画)ボタンを押してからある一定の時間を記録するか([スタートトリガー])、または、MOVIEボタンを押すまでのある一定の時間を記録するか([エンドトリガー])を選ぶ。

- MENUボタン →  (撮影設定) → [ハイフレームレート]を選び、希望の露出モードに設定することができます。
- フォーカスエリアなどそのほかの撮影設定も、HFR設定画面で設定することができます。

3 中央ボタンを押す。

HFR撮影画面が表示される。

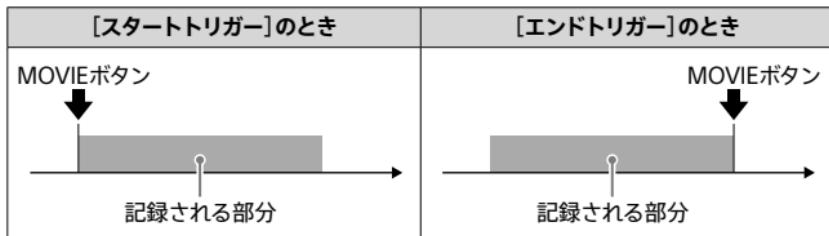
- フォーカス位置はロックされます。
- 露出モード、フォーカスエリア、フレームレートなどの設定を変更したいときは、一度中央ボタンを押してHFR設定画面に切り換えてください。

4 MOVIEボタンを押す。

撮影が終了すると、自動的に記録が開始される。

録画のタイミングについて

【HFR録画タイミング】の設定により、MOVIEボタンを押すタイミングと録画される動画の時間の関係は以下のようにになります。



- ・【HFR録画タイミング】が【スタートトリガー】のときは、撮影中にMOVIEボタンをもう一度押すと、撮影が終了し、記録が開始されます。

撮影をやり直したいときは

記録中の画面で【キャンセル】を選ぶと、記録を中止できます。ただし、中止したところまでの動画は保存されます。

再生速度について

【HFRフレームレート】と【HFR記録設定】の設定によって、再生速度は以下のようになります。

HFRフレームレート	HFR記録設定		
	24p 50M	30p 50M	60p 50M
240fps	10倍スロー	8倍スロー	4倍スロー
480fps	20倍スロー	16倍スロー	8倍スロー
960fps	40倍スロー	32倍スロー	16倍スロー

[HFR優先設定]と撮影時間について

HFR優先設定	HFRフレームレート	イメージセンサー読み出し有効画素数	撮影時間
画質優先	240fps	1824×1026	約2秒
	480fps	1676×566	
	960fps	1136×384	
撮影時間優先	240fps	1676×566	約4秒
	480fps	1136×384	
	960fps	800×270	

ご注意

- ・音声は記録されません。
- ・記録される動画はXAVC S HDフォーマットになります。
- ・MOVIEボタンを押してから記録が終わるまでに時間がかかる場合があります。HFR撮影画面に切り換わるまで待って、次の撮影を行ってください。
- ・マクロ撮影などで被写体に近づきすぎるとピントが合いません。カメラを最短撮影距離(レンズ先端からW側で約3 cm、T側で約72 cm)より離して撮影してください。

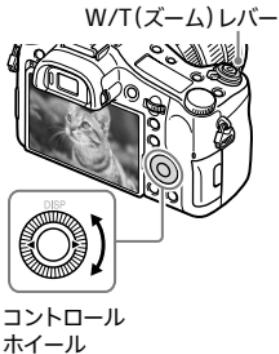
静止画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。



2 コントロールホイールの▶(次) /◀(前)を押す、または
コントロールホイールを回して画像を選ぶ。

- 拡大するには、W/T(ズーム)レバーをT側に動かしてください。最初は大きく拡大されますのでW側に動かして倍率を調整してください。
- 画像はピントが合った位置を中心に拡大されます。ピントの位置情報が得られない場合、画像の中心が拡大されます。
- MENUボタン → ▶(再生) → [⊕ 拡大の初期倍率] または [⊕ 拡大の初期位置] で、拡大表示倍率や拡大初期位置を変更できます。



撮影に戻るには

▶(再生)ボタンを押す。

- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻ります。

動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して再生モードにする。

2 コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央ボタンを押す。

動画の再生が始まる。

- もう一度中央ボタンを押すと、一時停止します。再生中に◀/▶を押すと早戻し、早送りができます。▼を押すと、操作パネルが表示されます。

操作パネル	できること
▶	再生
⏸	一時停止
▶▶	早送り
◀◀	早戻し
▶▶▶	スロー再生
◀◀◀	スロー逆再生
▶▶▶▶	次の動画
◀◀◀◀	前の動画
⏸▶	コマ送り
◀⏸	コマ戻し
●●●	モーションショットビデオ(動きのある被写体の残像表示)
暂停	動画から静止画作成
音量	音量設定
閉じる	操作パネルを閉じる

テレビで再生するには

HDMIケーブル(別売)で本機とテレビを接続する。

動画から静止画を切り出すには

MENUボタン → ▶(再生) → [動画から静止画作成] を選び、動画再生中にお好みのタイミングで一時停止して、動画から希望のシーンを切り出して静止画として保存することができます。

素早く探す(一覧表示)

- 1 ▶(再生)ボタンを押して再生モードにし、W/T(ズーム)レバーをW側に動かす。



- 2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押す、またはコントロールホイールを回して画像を選ぶ。
• 中央ボタンを押すと、1枚再生に戻ります。

希望の画像を素早く表示するには

コントロールホイールで左側のバーを選び、▲/▼でページを送ることができます。また、左側のバーを選んで中央ボタンを押すと、カレンダー画面またはフォルダー選択画面になり、日付またはフォルダーを選べます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます(94ページ)。



削除する

-
- 1 □(再生)ボタンを押して削除したい画像を表示し、C3/廃(削除)ボタンを押す。



C3/廃(削除)ボタン

-
- 2 コントロールホイールの▲で[削除]を選び、中央ボタンを押す。

- MENUボタン → □(再生) → [削除]で、複数の画像を一度に削除することもできます(94ページ)。
-

すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。MENUボタン → (セットアップ) → [フォーマット] → [実行]を選ぶ。

見る

その他の再生機能を使う

本機はこの他にも多くの再生機能を搭載しています。Wi-FiやHDMIケーブルを使ったテレビでの再生方法、撮った画像のプリント方法、連続再生(スライドショー)などの詳細は、ヘルプガイド(12ページ)で確認できます。

電子音の設定を変える

本機の電子音が鳴るかどうかを設定します。

1 MENUボタン →  (セットアップ) → [電子音] → 希望の設定を選ぶ。

入：シャッターボタンを半押ししてピントが合ったときなどに、操作音が鳴る。

シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

切：操作音/シャッター音は鳴らない。

静止画に撮影日付を入れる

撮影した日付を静止画に挿入するように設定できます。

1 MENUボタン →  (カスタム設定) → [☑日付書き込み] → 希望の設定を選ぶ。

ご注意

- 静止画に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時にパソコンやプリンターで日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。
- [☑画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]のときは日付は挿入されません。

ソフトウェアを活用する

以下のソフトウェアをパソコンにインストールすると、本機をもっと便利に活用できます。

- PlayMemories Home : パソコンへ画像を取り込んで活用する(82ページ)
- Image Data Converter : RAW画像を表示・加工する
- Remote Camera Control : パソコンからUSBケーブルで接続したカメラを操作する

それぞれのソフトウェアは、以下のURLからパソコンにダウンロードしてインストールできます。

1 パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

Windows :

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/>

Mac :

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

- インターネット接続が必要です。

- 詳しい操作方法は、各ソフトウェアのサポートページまたはヘルプをご覧ください。
-

ご注意

- Remote Camera Controlを使用するときは、MENUボタン →  (セットアップ) → [USB接続] → [PCリモート] にしてから本機とパソコンを接続してください。

パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home)

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。
XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込む場合は
PlayMemories Homeが必要です。
<http://www.sony.net/pm/>



ご注意

- PlayMemories Online、各ネットワークサービスの利用にはインターネット接続が必要です。
- 2011年以前の機種に付属のソフトウェアPMB(Picture Motion Browser)がインストールされている場合、PlayMemories Homeが上書きインストールされます。PMBの後継ソフトウェアPlayMemories Homeをご使用ください。
- PlayMemories Homeに新たに機能が追加されることがあります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを接続してください。
- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブル(付属)をはずさないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイの[]をクリックし、次に[DSC-RX10M3の取り出し]をクリックしてください。

カメラに機能を追加する (PlayMemories Camera Apps)

インターネットでアプリケーションダウンロードサイト

 (PlayMemories Camera Apps™) に接続して、お好みの機能を本機に追加できます。

アプリケーションをダウンロードする

1 パソコンでアプリケーションダウンロードサイトへアクセスする。

<http://www.sony.net/pmcfa/>

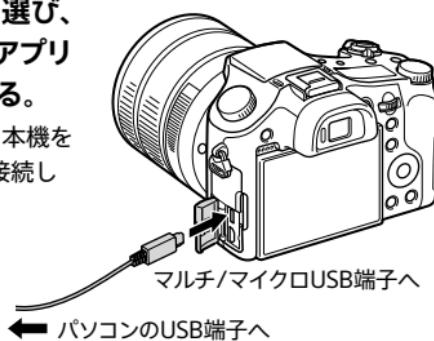
- ダウンロードに必要なパソコンの動作環境は、アプリケーションダウンロードサイトをご確認ください。

2 画面の指示に従って、サービスアカウントを取得する。(初回のみ)

- アカウントをお持ちの場合は、アプリケーションダウンロードサイトへサインインしてください。

3 お好みのアプリケーションを選び、 画面の指示に従って本機にアプリケーションをダウンロードする。

- 画面の指示に従って、パソコンと本機をマイクロUSBケーブル(付属)で接続してください。



カメラに機能を追加する

本機のWi-Fi機能で直接ダウンロードするには

Wi-Fi機能を使って、パソコンを使用せずにダウンロードすることもできます。

MENUボタン →  (アプリケーション) → [アプリ一覧] →  (PlayMemories Camera Apps) を選び、画面の指示に従ってダウンロードする。

- あらかじめサービスアカウントを取得してください。
- MENUボタン →  (ワイヤレス) → [アクセスポイント手動登録] → 接続したいアクセスポイント → [IPアドレス設定]が[マニュアル]になっている場合は[オート]に変更してください。

アプリケーションを起動する

1 MENUボタン →  (アプリケーション) → [アプリ一覧] → 希望のアプリケーションを選んで起動する。

NFC機能を使ってアプリケーションを起動するには

[ワンタッチ(NFC)]を使うと、NFC機能搭載のAndroidスマートフォンを本機のにタッチして、アプリケーションを呼び出すことができます。

- ご購入時、[ワンタッチ(NFC)]には[スマートリモコン内蔵版]が割り当てられています。

アプリケーションをすばやく起動するには

カスタムキーの設定で、[ダウンロードアプリ]、[登録アプリ一覧]を設定しておくと、撮影情報画面でカスタムキーを押すだけでアプリケーションを起動したり、アプリケーション一覧を表示できます。

MENUボタンで選ぶ機能一覧

📷(撮影設定)

▢ 画像サイズ	静止画のサイズを選択する。 (L:20M/M:10M/S:5.0M(3:2のとき) L:18M/M:10M/S:5.0M/VGA(4:3のとき) L:17M/M:7.5M/S:4.2M(16:9のとき) L:13M/M:6.5M/S:3.7M(1:1のとき))
▢ 横縦比	静止画の横縦比を選択する。 (3:2/4:3/16:9/1:1)
▢ 画質	静止画の画質を設定する。 (RAW/Raw+JPEG/エクストラファイン/ファイン/スタンダード)
画像サイズ(デュアル記録)	動画記録中に撮影する静止画の画像サイズを設定する。 (L:17M/M:7.5M/S:4.2M)
画質(デュアル記録)	動画記録中に撮影する静止画の画質を設定する。 (エクストラファイン/ファイン/スタンダード)
▢ 記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。 (XAVC S 4K/XAVC S HD/AVCHD/MP4)
▢ 記録設定	動画のサイズを選択する。 (30p 100M/30p 60M/24p 100M/24p 60M (XAVC S 4Kのとき) 60p 50M/30p 50M/24p 50M/120p 100M/ 120p 60M(XAVC S HDのとき) 60i 24M(FX) /60i 17M(FH) / 60p 28M(PS) /24p 24M(FX) /24p 17M(FH) (AVCHDのとき) 1920×1080 60p 28M/1920×1080 30p 16M/ 1280×720 30p 6M(MP4のとき))
同時ビデオ記録	XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画を同時に記録するかを設定する。 (入/切)
HFRハイフレームレート設定	ハイフレームレート撮影の設定をする。 (HFR記録設定/HFRフレームレート/HFR優先設定/ HFR録画タイミング)

機能を一覧で確認する

パノラマ：画像サイズ	パノラマ画像のサイズを選択する。 (標準/ワイド)
パノラマ：撮影方向	パノラマの撮影方向を設定する。 (右/左/上/下)
ドライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。 (1枚撮影/連続撮影/速度優先連続撮影/ セルフタイマー/セルフタイマー(連続) / 連続ブラケット/1枚ブラケット/ ホワイトバランスブラケット/DROブラケット)
ブラケット設定	ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブ ラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を 設定する。 (ブラケット時のセルフタイマー/ブラケット順序)
フラッシュモード	フラッシュの発光方式を設定する。 (発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/ 後幕シンクロ/ワイヤレス)
調光補正	フラッシュの発光量を調整する。 (-3.0EV～+3.0EV)
赤目軽減発光	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。 (入/切)
フォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。 (ワイド/中央/フレキシブルスポット/ 拡張フレキシブルスポット/ロックオンAF)
AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 (オート/切)
露出補正	画像全体の明るさを補正する。 (-3.0EV～+3.0EV)
ISO感度	ISO感度を設定する。 (マルチショットNR/ISO AUTO/ ISO 64～ISO 12800)
ISO AUTO低速限界	ISO AUTO時に、ISO感度が変わり始める低速側の シャッタースピードを設定する。 (より高速/高速/標準/低速/より低速/ 1/32000～30")

測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 (マルチ/中央重点/スポット)
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (オート/太陽光/日陰/曇天/電球/ 蛍光灯:温白色/蛍光灯:白色/蛍光灯:昼白色/ 蛍光灯:昼光色/フラッシュ/色温度・カラーフィルター/ カスタム1~3/カスタムセット)
DRO/オートHDR	明るさ、コントラストを自動補正する。 (切/Dレンジオプティマイザー/オートHDR)
クリエイティブスタイル	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 コントラスト、彩度、シャープネスの調整もできる。 (スタンダード/ビビッド/ニュートラル/クリア/ ディープ/ライト/ポートレート/風景/夕景/夜景/ 紅葉/白黒/セピア/スタイルボックス1~6)
ピクチャーエフェクト	好みの効果を使って、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できる。 (切/トイカメラ/ポップカラー/ポスタリゼーション/ レトロフォト/ソフトハイキー/パートカラー/ ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/ 絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア/ 水彩画調/イラスト調)
ピクチャープロファイル	撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できる。 (切/PP1~PP7)
ズームアシスト範囲	[ズームアシスト]機能によりズームアウトする量を選択する。 (S/M/L)
ピント拡大	撮影前の画像を拡大してピントの確認ができる。
長秒時NR	シャッタースピードを1/3秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。 (入/切)
高感度NR	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 (標準/弱/切)
中央ボタン押しロックオンAF	撮影画面で中央ボタンを押したとき、被写体を追尾してピントを合わせ続ける機能を設定する。 (入/切)

顔検出/スマイルシャッター	人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔を検出すると自動で撮影する。 (切/入(登録顔優先) /入/スマイルシャッター)
オートデュアル記録	動画記録中に人物を含む印象的な構図を検出したときに静止画を自動で撮影する。 (切/入 : 撮影頻度 低/入 : 撮影頻度 標準/ 入 : 撮影頻度 高)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (切/入 : 高/入 : 中/入 : 低)
オートフレーミング	人物の顔やマクロ撮影する被写体、または [ロックオンAF]でとらえた被写体を検出して、撮影 するときにシーンを分析して、印象の異なる構図で 画像を保存する。 (切/オート)
オートモード	オート撮影の方法を選ぶ。 (おまかせオート/プレミアムおまかせオート)
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で 撮影する。 (ポートレート/スポーツ/マクロ/風景/夕景/夜景/ 手持ち夜景/夜景ポートレート/人物ブレ軽減)
ハイフレームレート	撮りたい被写体や効果に合わせて、HFR撮影時の露 出モードを選んで撮影する。 (プログラムオート/絞り優先/ シャッタースピード優先/マニュアル露出)
動画	撮りたい被写体や効果に合わせて、露出モードを選 んで撮影する。 (プログラムオート/絞り優先/ シャッタースピード優先/マニュアル露出)
手ブレ補正	静止画撮影時の手ブレ補正を設定する。 (入/切)
手ブレ補正	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。 (インテリジェントアクティブ/アクティブ/ スタンダード/切)
色空間	再現できる色の範囲を変更する。 (sRGB/AdobeRGB)

 オートストローシャッター	動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。 (入/切)
 音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 (入/切)
 録音レベル	録音レベルを調整する。 (0~31)
 音声出力タイミング	動画撮影時の音声出力のタイミングを設定する。 (ライブ/リップシンク)
 風音低減	動画撮影時、風音を低減する。 (入/切)
 登録呼び出し	モードダイヤルがMR(登録呼び出し)のとき、呼び出したい設定を選択する。 (1/2/3/M1~M4)
 登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。 (1/2/3/M1~M4)

✿(カスタム設定)

 ゼebra	明るさ調整の目安になるしま表示を設定する。 (切/70~100/100+/カスタム1/カスタム2)
 MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 (入/切)
 ピント拡大時間	拡大表示する時間を設定する。 (2秒/5秒/無制限)
 ピント拡大初期倍率	[ピント拡大]機能による画像拡大時に最初に表示する倍率を設定する。 (×1.0/×5.3)
 グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。 (3分割/方眼/対角+方眼/切)
 マーカー表示	動画撮影時に、モニターにマーカーを表示するかを設定する。 (入/切)

マーカー設定	動画撮影時に表示されるマーカーを設定する。 (センター/アスペクト/セーフティゾーン/ ガイドフレーム)
音声レベル表示	音声レベルを画面に表示するかどうかを選ぶ。 (入/切)
オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。 (10秒/5秒/2秒/切)
DISPボタン	DISPボタンを押してモニターやファインダーに表示する情報の種別を設定する。 (背面モニター/ファインダー)
ピーキングレベル	マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。 (高/中/低/切)
ピーキング色	輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。 (レッド/イエロー/ホワイト)
露出設定ガイド	撮影画面で露出設定を変更したときに表示するガイドの設定をする。 (切/入)
ライブビュー表示	モニターの表示に、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 (設定効果反映On/設定効果反映Off)
プリAF	シャッターボタンを半押しする前から、自動でオートフォーカスするかしないかを設定する。 (入/切)
ズームスピード	本機のズームレバーのズームスピードを設定する。 (標準/高速)
ズーム設定	全画素超解像ズーム、デジタルズームを使用するかどうか設定する。 (光学ズームのみ/入：全画素超解像ズーム/ 入：デジタルズーム)
FINDER/MONITOR	電子ビューファインダーとモニターの表示切り替え方法を設定する。 (オート/ファインダー(マニュアル) / モニター(マニュアル))

メモリーカードなしレリーズ	メモリーカードが入っていない状態で、シャッターが切れるかどうかを設定する。 (許可/禁止)
▣ シャッター半押しAEL	シャッターボタンを半押ししたときに、露出決定を行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行う設定にできる。 (オート/入/切)
▣ シャッター方式	メカシャッターと電子シャッターのどちらを使用するかを設定する。 (オート/メカシャッター/電子シャッター)
露出補正の影響	露出補正值をフラッシュの調光に反映するかどうかを設定する。 (定常光+フラッシュ/定常光のみ)
露出補正值のリセット	露出ダイヤルが0の状態で電源を切ったとき、現在値を保存するかどうかを設定する。 (保持/リセット)
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 (新規登録/優先順序変更/削除/全て削除)
▣ 日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。 (入/切)
ビデオライトモード	LEDライトHVL-LBPC(別売)の点灯方式を設定する。 (電源連動/録画連動/録画連動+STBY点灯/オート)
ファンクションメニュー設定	Fn(ファンクション)ボタンで表示する機能をカスタマイズする。 (ドライブモード/プラケット時のセルフタイマー/フラッシュモード/調光補正/フォーカスエリア/露出補正/ISO感度/ISO AUTO低速限界/測光モード/ホワイトバランス/DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/撮影モード/ピクチャーエフェクト/ピクチャープロファイル/フレームレート(HFR)/中央ボタン押しロックオンAF/顔検出/スマイルシャッター/オートデュアル記録/美肌効果/オートフレーミング/画像サイズ/横縦比/画質/手ブレ補正(静止画) /手ブレ補正(動画) /録音レベル/ゼブラ/グリッドライン/マーカー表示(動画) /音声レベル表示/ピーキングレベル/ピーキング色/ガンマ表示アシスト/未設定)

カスタムキー(撮影)	あらかじめキーに機能を設定しておくと、撮影時にキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。 (コントロールホイール/カスタムボタン1/ カスタムボタン2/カスタムボタン3/中央ボタン/ 左ボタン/右ボタン/下ボタン/AELボタン/ フォーカスホールドボタン)
カスタムキー(再生)	あらかじめキーに機能を設定しておくと、再生時にキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。 (カスタムボタン1/カスタムボタン2/ Fn/■ボタン/フォーカスホールドボタン)
レンズリングの設定	前レンズリングと後レンズリングにフォーカス機能またはズーム機能のどちらを割り当てるかを設定する。 ( フォーカス  ズーム/  ズーム  フォーカス)
フォーカスリング操作方向	フォーカス機能が割り当てられたレンズリングの回転方向に対して、遠距離側または近距離側のどちらのフォーカスを割り当てるかを設定する。 (左回転  /右回転  または、 右回転  /左回転 
ズームリング操作方向	ズーム機能が割り当てられたレンズリングの回転方向に対して、W/Tの割り当てを設定する。 (左回転(W) /右回転(T) または、 右回転(W) /左回転(T))
リングのズーム機能	レンズリングでのズーム機能を設定する。[クイック]を選ぶと、レンズリングの回転量に応じた画角にズームする。[ステップ]を選ぶと、一定の画角で段階的に切り替わる。 (スタンダード/クイック/ステップ)
MOVIE(動画)ボタン	MOVIEボタンが有効になるモードを設定する。 (常に有効/動画モードのみ有効)
ダイヤル/ホイールロック	Fnボタンを押して、撮影時にコントロールダイヤル/コントロールホイールを一時的に無効にする機能を設定する。Fnボタンを押し続けることでロックまたはロック解除する。 (入/切)

Wi-Fi(ワイヤレス)

スマートフォン転送	スマートフォンに画像を表示、転送する。 (カメラから選ぶ/スマートフォンから選ぶ)
パソコン保存	本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。
テレビ鑑賞	ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。
ワンタッチ(NFC)	ワンタッチ(NFC)にアプリケーションを1つ割り当てる。撮影時にNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、そのアプリケーションが起動する。
飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi/NFC機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。 (入/切)
アクセスポイント簡単登録	Wi-Fi Protected Setup™(WPS)ボタンを押すことで、簡単にアクセスポイントを登録できる。
アクセスポイント手動登録	手動でアクセスポイントを登録できる。
機器名称変更	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。
MACアドレス表示	本機のMACアドレスを表示する。
SSID・PWリセット	スマートフォン接続の接続情報をリセットする。
ネットワーク設定リセット	すべてのネットワーク設定をリセットする。

アプリケーション

アプリ一覧	アプリケーションの一覧を表示する。使いたいアプリケーションを選択できる。
サービス紹介	アプリケーションの使い方を表示する。

□(再生)

削除	画像を削除する。 (画像選択/このフォルダーの全画像/ この日付の全画像)
ビューモード	再生する画像のグルーピング方法を設定する。 (日付ビュー/フォルダービュー(静止画) / フォルダービュー(MP4) /AVCHDビュー/ XAVC S HDビュー/XAVC S 4Kビュー)
一覧表示	一覧表示する枚数を選ぶ。 (9枚/25枚)
記録画像の回転表示	縦向きで記録した静止画の再生方法を設定する。 (オート/マニュアル/切)
スライドショー	画像を連続再生する。 (リピート/間隔設定)
回転	画像を回転する。
⊕ 拡大	再生画像を拡大表示する。
⊕ 拡大の初期倍率	静止画を拡大表示したときの初期倍率を設定する。 (標準の倍率/前回の倍率)
⊕ 拡大の初期位置	静止画を拡大表示したときの初期位置を設定する。 (ピント位置/画面中央)
プロテクト	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (画像選択/このフォルダーの全画像/ この日付の全画像/このフォルダーを全て解除/ この日付を全て解除)
モーションショットビデオ設定	動画再生時に、動きのある被写体の残像を見るこ とができる、モーションショットビデオの残像間隔を調整する。
プリント指定	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 (画像選択/全画像解除/印刷設定)
動画から静止画作成	動画から希望のシーンを切り出して、静止画として保存する。

(セットアップ)

モニター明るさ	モニターの明るさを設定する。 (マニュアル/屋外晴天)
ファインダー明るさ	ファインダーの明るさを設定する。 (オート/マニュアル)
ファインダー色温度	ファインダーの色温度を設定する。
ガンマ表示アシスト	S-Log画像をITU709相当の画像に変換し、ファインダーやモニターに表示する。 (切/オート/S-Log2→709(800%))
音量設定	動画再生時の音量を設定する。
電子音	本機の操作時に鳴る音を設定する。 (入/シャッター/切)
アップロード設定	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。 (入/切)
タイルメニュー	MENUボタンを押したときに、タイルメニューを表示するかを設定する。 (入/切)
モードダイヤルガイド	モードダイヤルガイド(各撮影モードの説明)の表示を設定する。 (入/切)
削除確認画面	削除の確認画面で、[削除]と[キャンセル]のどちらを選択された状態にするかを設定する。 (「削除」が先/「キャンセル」が先)
表示画質	表示画質を設定する。 (高画質/標準)
パワーセーブ開始時間	省電力モード(パワーセーブ)になるまでの時間を設定する。 (30分/5分/2分/1分/10秒)
デモモード	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 (入/切)

TC/UB設定	タイムコード(TC)とユーザービット(UB)の設定をする。 (TC/UB表示設定/TC Preset/UB Preset/TC Format/TC Run/TC Make/UB Time Rec)
HDMI設定	HDMIに関する設定を行います。 (HDMI解像度/24p/60p出力切換/HDMI情報表示/TC出力/レックコントロール/HDMI機器制御)
4K映像の出力先	本機を4K対応の外部録画再生機器などと接続するときに、どのように記録、HDMI出力するかを設定する。 (メモリーカード+HDMI/HDMIのみ(30p) / HDMIのみ(24p))
USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。 (オート/マストレージ/MTP/PCリモート)
USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。 (マルチ/シングル)
USB給電	本機とパソコン、またはUSB機器をマイクロUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定する。 (入/切)
日時設定	時計、日付の設定をする。
エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
著作権情報	撮影する静止画の著作権情報を設定する。 (著作権情報書き込み/撮影者名設定/著作権者名設定/著作権情報表示)
フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。 (連番/リセット)
ファイル名設定	撮影する静止画のファイル名の先頭3文字を変更する。
記録フォルダー選択	静止画と動画(MP4)を記録するフォルダーを設定する。

フォルダー新規作成	静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。
フォルダー形式	静止画を記録するフォルダーの形式を設定する。(標準形式/日付形式)
管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。
メディア残量表示	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。
バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
認証マーク表示	本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。
設定リセット	設定をお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期化]を選ぶ。(撮影設定リセット/初期化)

撮影モードごとの設定できない機能

選んでいる撮影モードや設定によって、設定できない機能があります。
○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

撮影モード/ その他設定		露出補 正 (55)	セルフ タイマー (59)	連続撮 影 (57)	ブラ ケット (57)	ISO (56)	オート HDR (87)
AUTO (32)		×	○	○	×	×	×
SCN (46)		×	×	○	×	×	×
		×	○	×	×	×	×
		○	×	×	×	×	×
P (33)		○	○	○	○	○	○
A (47)		○	○	○	○	○	○
S (48)		○	○	○	○	○	○
M (49)		×*1	○	○	○	○	○
		○*1	×	×	×	○	×
HFR(73)		○*1*2	×	×	×	○*2	×
オートHDR		○	○	×	×	○	○

*¹ 撮影モードがMのときはISOが[ISO AUTO]のときのみ露出補正が可能です。

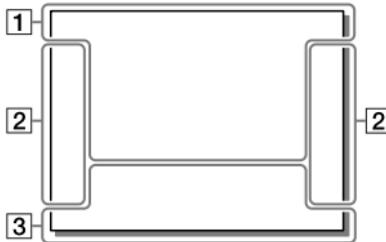
*² HFR設定画面時のみ設定可能です。

ご注意

- となっている機能でも、選択できない設定値がある場合があります。
- その他の条件によっても制限される場合があります。

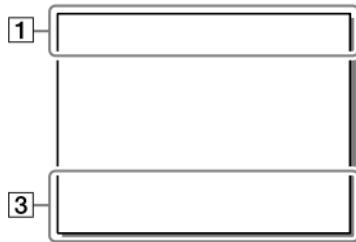
モニターに表示されるアイコン一覧

撮影時のアイコン一覧



表示	意味
 P P S M P A S M HFR P HFR A HFR S HFR M	撮影モード (45)
	登録呼び出し (60)
NO CARD OFF : 	メモリーカード/アップロード (95)
 	シーン認識マーク (32)

再生時のアイコン一覧



表示	意味
  	シーンセレクション(46)
100	撮影可能枚数(105)
3:2 4:3 16:9 1:1	静止画の画像横縦比(85)
20M/ 18M/ 17M/ 13M/ 10M/ 7.5M/ 6.5M/ 5.0M/ 4.2M/ 3.7M/ VGA  	静止画の画像サイズ(42)
RAW RAW+J X.FINE FINE STD	静止画の画質(44)
120p 60p 60i 30p 24p	動画のフレームレート(68)

表示	意味
	動画の記録設定(68)
	NFC有効
	バッテリー容量(21)
	バッテリー残量警告(21)
	USB給電中(24)
	フラッシュ充電表示(38)
	AF補助光(86)
	手ブレ補正オフ/オン(88) /手ブレ警告
	飛行機モード(93)
	重ね合わせ実行表示(33)
	動画音声記録オフ(89)
	風音低減(89)
	設定効果反映Off(90)
	スマートテレコンバーター
	管理ファイルフル警告 /管理ファイルエラー警告
	温度上昇警告

表示	意味
	スマートズーム/全画素超解像ズーム/デジタルズーム(34)
	スポット測光サークル(87)
	自己診断表示
	水準器(40)
	音声レベル表示(90)
	ビューモード(94)
100-0003	フォルダー番号—ファイル番号
XAVC S 4K XAVC S HD AVCHD MP4	動画の記録方式(68)
	プロテクト(94)
	DPOF(プリント)指定(94)
	オートフレーミング画像(88)
	同時ビデオ記録(85)
	PCリモート(96)
	ブライトモニタリング(63)
	著作権情報書き込みオン(96)

表示	意味
240fps 480fps 960fps	HFR撮影時のフレームレート(73)
■■■■■■■■	録画タイミング(73)
Assist L-Log2	ガンマ表示アシスト(95)
■■■■■■■■	データ書き込み中(71)
キャプチャー	静止画取り込み中(71)
■	静止画撮影不可(71)
■■■■■■■■	オートデュアル記録(88)

2

表示	意味
□ □ S ⌚10 ⌚2s BRK C BRK S 0.3EV3 0.3EV3 ⌚2 BRK C ⌚2 BRK S 0.3EV3 0.3EV3 BRK WB BRK DRO HI LO ⌚2 BRK ⌚2 BRK WB HI DRO LO	ドライブモード(57、59)
▣ ▣ ▣	測光モード(87)
⌚ AUTO ⌚ SLOW REAR ⌚ AUTO ⌚ AUTO	フラッシュモード(38) / 赤目軽減発光(86)
±0.0	調光補正(86)
AF-S AF-C DMF MF	フォーカスマード(51)

表示	意味
AWB ☀ 家 ☀ 家-1 ☀ 家+1 WB 7500K A5 G5	ホワイトバランス(87)
[] [] [] M [] [] [] M [] [] [] M [] [] [] M	フォーカスエリア(52)
D-R DRO HDR OFF AUTO AUTO	DRO/オートHDR(87)
Std. ↑ Vivid ↑ Ntr. ↑ Clear ↓ Deep ↓ Light ↓ Port. ↑ Land. ↑ Sunset ↑ Night ↓ Auto. ↓ B/W ↓ Sepia ↑ +3 +3 +3	クリエイティブスタイル(87) / コントラスト、彩度、シャープネス
⌚ OFF ⌚ ON ⌚ ON ⌚ ON ⌚ ON	顔検出/スマイルシャッター(88)
Toy Home Pop Pos. Pos. Retro Shift key Part H Part G Part R Part L HC Soft Mid Ping Mid Rich Mid Mint Avant Whrc Iius Mid OFF	ピクチャーエフェクト
⌚	スマイル検出感度インジケーター(88)
PP1 ~ PP7 PP OFF	ピクチャープロファイル(72)

3

表示	意味
● ロックオン AF	ロックオンAF用 ガイド表示(87)
● フォーカス 位置選択 入/ 切	フォーカスエリア設定 用ガイド表示
-3.0+1.0-0.5+2.0+	ブラケットインジケー ター
STBY	動画の録画スタンバ イ
REC 0:12	動画の記録時間 (分 : 秒)
ZR: ZOOM ZF: FOCUS ZR: ZOOM	レンズリングの機能 (27)
CP*	コントロールホイール の機能(27)
TV	コントロールダイヤル の機能(27)
● (○) (○)	フォーカス(31)
1/250	シャッタースピード (48)
F3.5	絞り値(47)
MM ±0.0	メータードマニュアル (49)
±0.0	露出補正值(55)
ISO400	ISO感度(56)
*	AEロック
	シャッタースピードイ ンジケーター(40)
	絞りインジケーター (40)

表示	意味
	ヒストグラム(40)
	ピクチャーエフェクト エラー
	オートHDR画像警告 (87)
2016-1-1 10:37AM	撮影日時
3/7	画像番号/ビューモー ド内画像枚数
(C)	著作権情報あり
	レックコントロール (96)
00:00:00:00	タイムコード(時 : 分 : 秒 : フレーム)(96)
00 00 00 00	ユーザービット (96)
● 撮影スタン バイ ● 撮影設定	HFR撮影用ガイド表 示(73)

- 表示内容や表示位置は目安であり、
実際とは異なる場合があります。

表示パネルの表示

シャッタースピード、絞り、露出補正などの設定値を、本機上面の表示パネルを見ながら設定できます。

- ☼(表示パネル照明)ボタンを押すと、バックライトが点灯します。



シャッタースピード (48) / 絞り (47)	1/25 F5.6	露出補正(55) / 調光補正 (86)	+1.0
ISO (56)	ISO 1600	ホワイトバランス (87)	AWB
ドライブモード (57、 59)	0.7 3 SINGLE	バッテリー容量 (21)	100%
撮影可能枚数* (105)	10000		

* 9,999枚より多いときでも、表示パネルには「9999」と表示されます。

使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画		
		MP4	AVCHD	XAVC S
メモリースティック PRO デュオ	○	○ (Mark2のみ)	○ (Mark2のみ)	—
メモリースティック PRO-HG デュオ™	○	○	○	○*1
メモリースティックマイクロ™ (M2)	○	○ (Mark2のみ)	○ (Mark2のみ)	—
SDメモリーカード	○	○*2	○*2	—
SDHCメモリーカード	○	○*2	○*2	○*3
SDXCメモリーカード	○	○*2	○*2	○*3
microSD メモリーカード	○	○*2	○*2	—
microSDHC メモリー カード	○	○*2	○*2	○*3
microSDXC メモリー カード	○	○*2	○*2	○*3

*1 100 Mbps以上で記録することはできません。

*2 SDスピードクラス4 : CLASS④ 以上、またはUHSスピードクラス1 : U1 以上

*3 以下の条件をすべて満たすメモリーカード

- 容量4GB以上
- SDスピードクラス10 : CLASS⑩、またはUHSスピードクラス1 : U1 以上
100 Mbps以上で記録する場合は、UHSスピードクラス3 : U3 が必要です。
- 記録できる枚数/時間については、105~106ページをご覧ください。容量ごとの一覧を参考に、メモリーカードの容量を選んでください。

ご注意

- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。PlayMemories Homeで結合することで、1つのファイルとして扱うことができます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- メモリースティックマイクロ、microSD メモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。

[画像サイズ] : [L:20M]

[横縦比] : [3:2] のとき*

画質	記録可能枚数			
	8GB	16GB	32GB	64GB
スタンダード	1150枚	2400枚	4800枚	9600枚
ファイン	690枚	1400枚	2800枚	5500枚
エクストラファイン	510枚	1000枚	2050枚	4150枚
RAW+JPEG	235枚	470枚	950枚	1900枚
RAW	355枚	710枚	1400枚	2850枚

* [横縦比] を [3:2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます (RAW 設定時は除く)。

ご注意

- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルの合計記録時間の目安です。[記録方式] が[XAVC S 4K]、[XAVC S HD]、[AVCHD] の数値は、[同時ビデオ記録] を[切] で使用したときの数値です。

記録方式	記録設定	記録可能時間		
		8GB	32GB	64GB
XAVC S 4K	30p 100M	9分	35分	1時間15分
	30p 60M	15分	1時間	2時間5分
	24p 100M	9分	35分	1時間15分
	24p 60M	15分	1時間	2時間5分
XAVC S HD	60p 50M	15分	1時間15分	2時間35分
	30p 50M	15分	1時間15分	2時間35分
	24p 50M	15分	1時間15分	2時間35分
	120p 100M	9分	35分	1時間15分
	120p 60M	15分	1時間	2時間5分
AVCHD	60i 24M(FX)	40分	3時間	6時間
	60i 17M(FH)	55分	4時間5分	8時間15分
	60p 28M(PS)	35分	2時間30分	5時間5分
	24p 24M(FX)	40分	3時間	6時間
	24p 17M(FH)	55分	4時間5分	8時間15分
MP4	1920×1080 60p 28M	35分	2時間35分	5時間20分
	1920×1080 30p 16M	1時間	4時間10分	8時間25分
	1280×720 30p 6M	2時間35分	10時間55分	22時間

- 連続撮影可能時間は出荷時設定を使い約25°Cで撮影した場合、1回につき最大約29分です。また、記録方式の設定をMP4(28M)にした場合、連続で撮影できる時間は約20分です(ファイルサイズ4GBによる制限)。

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR(Variable Bit-Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。
動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- ❶ 以下の項目をチェックする。また、「ヘルプガイド(HTML)」も参照し、本機を点検する。

モニターに「C/E : □□ : □□」のような表示が出たときは、「ヘルプガイド」をご覧ください。

- ❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

- ❸ 設定リセットをする(97ページ)。

- ❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

http://www.sony.jp/support/cyber-shot/repair_service/



- ❺ 相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、バッテリーロックレバーがロックするまで挿入してください(19ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(19ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しづつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- ソニー製純正のNP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることができます。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます(5ページ)。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際のズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じことがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- NP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。
- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。
- 1年以上使用していないバッテリーは劣化の可能性があります。
- 充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。
- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10°C~30°Cの環境で行ってください。

カメラを振ると、音がする。

- 電源が入っていない状態で、カメラを振ると音がする場合がありますが、故障ではありません。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください(105、106ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
 - 不要な画像を削除してください(79ページ)。
 - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影に使用できるメモリーカードは、104ページをご覧ください。
- [デモモード]を[切]にしてください(95ページ)。
- [メモリーカードなしレリーズ]を[許可]にしてください(91ページ)。ただし、本機にメモリーカードを入れていない状態では、画像は記録されません。
- セルフタイマーになっています。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダー/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- 本機がパソコンにUSB接続されています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するにはPlayMemories Homeをご使用ください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- ・異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内には特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- ・激しい振動のある場所
- ・強力な磁気のある場所
- ・砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりするがあるので、以下のことは行わないでください。

- ・シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- ・上記が手についたまま本機を扱うこと
- ・ゴムやビニール製品との長時間の接触

モニターのお手入れ

- ・手の脂、ハンドクリームなどが付いたままでいるとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ・ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- ・モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のごみなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 °C~40 °Cです。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなつてからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バッカアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バッカアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10°C ~ 30°Cの環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2~3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

- バッテリーの端子部が汚ると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー(94ページ)を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードは一部の国、または地域で販売しています。

- Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国、または地域のみで使用が認められています。使用する国、または地域の法律に従ってお使いください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプター・バッテリー・チャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリー・チャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない



禁止

つづき



感電

下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けてない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止

カメラのファインダーやレンズを通して、太陽や強い光を見ない

- 視力障害や失明の原因となります。



禁止

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくとも皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。



禁止

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。



禁止

ワイヤレス機能ご使用上の注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

その他

⚠ 注意



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



スラグをコンセントから抜く

フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。



禁止

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出しがあり、けがの原因となることがあります。



指示

**△危険 電池についての
安全上のご注意とお願ひ**

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意
事項をよくお読みください。

△危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

△警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。



禁止

△注意

- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。



指示

お願ひ

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。



Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.com/> を参照してください。

その他

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：13.2 mm×8.8 mm(1.0型)

Cmosセンサー

カメラ有効画素数：約2010万画素

総画素数：約2100万画素

レンズ：

ZEISS バリオ・ゾナーT*

25倍ズームレンズ

f=8.8 mm～220 mm

(24 mm～600 mm(35 mmフィルム換算値))、F2.4(W)～F4(T)

動画撮影時(HD 16:9)：

26 mm～630 mm^{※1}

動画撮影時(4K 16:9)：

28 mm～680 mm^{※1}

*1 [手ブレ補正]が[スタンダード]のとき

手ブレ補正：光学式

静止画記録方式：

JPEG(DCF、Exif、MPF Baseline)準拠、

RAW(ソニーARW 2.3フォーマット)、

DPOF対応

動画記録方式：

XAVC S方式(XAVC S規格準拠)：

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：LPCM 2ch(48kHz 16bit)

AVCHD方式(AVCHD規格 Ver.2.0準拠)：

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：Dolby Digital 2ch

ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

• ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

MP4方式：

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch

記録メディア：

メモリースティック PRO デュオ、メモリースティックマイクロ、SDカード、microSD メモリーカード

フラッシュ：撮影範囲(ISO感度(推奨露光指數)がオートのとき)

約1.0 m～約10.8 m (W) /

約1.0 m～約6.5 m (T)

[入/出力端子]

HDMI端子：HDMIマイクロ端子

マルチ/マイクロUSB端子^{*}：USB通信

USB通信：Hi-Speed USB(USB 2.0)

マイク端子：ø3.5 mmステレオミニジャック

ヘッドホン端子：ø3.5 mmステレオミニジャック

* この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

[ファインダー]

形式：電子式ビューファインダー(有機EL)

総ドット数：2 359 296 ドット

視野率：100%

倍率：約0.70倍(35mm判換算、50 mmレンズ、無限遠、視度-1 m⁻¹時)

アイポイント(CIPA準拠)：最終光学面から約23 mm、接眼枠から約21.5 mm(視度-1 m⁻¹時)

視度調整：-4.0 m⁻¹～+3.0 m⁻¹

[モニター]

液晶モニター：

7.5 cm(3.0型)、TFT駆動

総ドット数：1 228 800 ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパック

NP-FW50、7.2 V

ACアダプター AC-UUD12/UUE12、5 V

消費電力：

約2.3 W(モニターで撮影時)

約2.6 W(ファインダーで撮影時)

動作温度：0 °C～40 °C

保存温度：-20 °C～+60 °C

外形寸法(CIPA準拠)(約)：

132.5 mm×94.0 mm×127.4 mm

(幅×高さ×奥行き)

本体質量(CIPA準拠)(約)：

1 095 g(バッテリーNP-FW50、メモリースティック PRO デュオを含む)

マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応

[ワイヤレスLAN]

対応規格：IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯：2.4GHz帯
セキュリティー：WEP/WPA-PSK/
WPA2-PSK
接続方式：Wi-Fi Protected Setup™
(WPS) / マニュアル
アクセス方式：インフラストラクチャーモー
ド
NFC：NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

Model No. WW411000

ACアダプター

AC-UUD12/UUE12

定格入力：AC 100 V～240 V、
50 Hz/60 Hz、0.2 A

定格出力：DC 5 V、1.5 A

リチャージャブルバッテリー パックNP-FW50

使用電池：リチウムイオン電池
最大電圧：DC 8.4 V
公称電圧：DC 7.2 V
容量：7.3 Wh(1 020 mAh)

本機や付属品の仕様および外観は、改良
のため予告なく変更することがあります
が、ご了承ください。

商標について

- メモリースティックおよびはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよびはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected Setupは Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDは Digital Living Network Allianceの商標です。
- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、 Google Inc.の商標または登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Inc.の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中にはTM、[®]マークは明記していない場合があります。



GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、[PMHOME] - [LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

索引

ア行

アイコン一覧	99
赤目軽減発光	86
明るさ	55
アクセスポイント簡単登録	93
アクセスポイント手動登録	93
アップロード設定(Eye-Fi)	95
アプリ一覧	93
一覧表示	78
色空間	88
印刷	79, 94
エリア設定	96
オートHDR	87
オートスローシャッター	89
オートデュアル記録	88
オートフォーカス	51
オートフレーミング	88
オートレビュー	90
おまかせオート	32
音声記録	89
音声出力タイミング	89
音声レベル表示	90
音量	77, 95

力行

回転	94
顔検出/スマイルシャッター	88
拡大	94
拡大の初期位置	94
拡大の初期倍率	94
拡張フレキシブルスポット	52
画質	44
画質(デュアル記録)	85
カスタムキー(再生)	61
カスタムキー(撮影)	61

画像サイズ	42
画像サイズ(デュアル記録)	85
カメラ内ガイド	30
画面表示一覧	99
ガンマ表示アシスト	95
管理ファイル修復	97
機器名称変更	93
記録画像の回転表示	94
記録可能枚数/時間	105
記録設定(動画)	68
記録フォルダー選択	96
記録方式(動画)	68
クリックナビ	40
グラフィック表示	40
クリエイティブスタイル	87
グリッドライン	89
言語	3
高感度NR	87
個人顔登録	91
コントラスト	87
コントロールホイール	27, 61

サ行

サービス紹介	93
再生	76, 77
削除	79
削除確認画面	95
撮影	31
撮影可能枚数	23
撮影モード	45
シーンセレクション	46
下ボタンの機能	61
絞り優先	47
絞りリング	47
シャープネス	87
シャッタースピード優先	48
シャッター半押しAEL	91
シャッターワーク	65
充電	21 _{JP}

その他

初期化	79, 97	手持ち夜景	46
人物ブレ軽減	46	デモモード	95
水準器	40	デュアル記録	71
スイングパノラマ	45	テレビ鑑賞(Wi-Fi)	93
ズーム	34	テレビで見る	79
ズームアシスト	36	電子音	80
ズームアシスト範囲	87	動画	67, 77
ズームスピード	35	動画から静止画作成	77
ズーム設定	34	動画記録設定	68
ズームリング操作方向	92	動画記録方式	68
ステップズーム	35	同時ビデオ記録	85
スポーツ	46	登録	60
スポット測光	87	登録呼び出し	60
スマートフォン転送	93	時計合わせ	25
スマートリモコン内蔵版	84	ドライブモード	57, 59
スマイルシャッター	88		
スライドショー	94		
スローシンクロ	38		
設定リセット	97		
ゼブラ	89		
セルフタイマー	59		
全画素超解像ズーム	34		
操作音	80		
速度優先連続撮影	57		
測光モード	87		
ソフトウェア	81, 82		
ナ行			
日時設定	26		
認証マーク表示	97		
ネットワーク設定リセット	93		
八行			
バージョン表示	97		
ハイフレームレート撮影	73		
パソコン	82		
パソコン保存(Wi-Fi)	93		
バッテリー	19		
花火	50		
パノラマ	45		
パノラマ：画像サイズ	86		
パノラマ：撮影方向	86		
バルブ撮影	50		
パワーセーブ開始時間	95		
ピーキング色	90		
ピーキングレベル	90		
ピクチャーエフェクト	87		
ピクチャープロファイル	72		
飛行機モード	93		
ヒストグラム	40		
左ボタンの機能	61		

日付書き込み	80
ビデオライトモード	91
美肌効果	88
ピューモード	94
表示画質	95
表示パネル	103
ピント拡大	87
ピント拡大時間	89
ピント拡大初期倍率	89
ファイル番号	96
ファイル名設定	96
ファインダー明るさ	95
ファインダー色温度	95
ファンクションボタン	28, 61
風音低減	89
風景	46
フォーカスエリア	52
フォーカススタンダード	52
フォーカスホールド	63
フォーカスマード	51
フォーカスリング操作方向	92
フォーカスロック	52
フォーマット	79
フォルダー形式	97
フォルダー新規作成	97
ブラケット	57
ブラケット設定	58
フラッシュモード	38
プリAF	90
プリント	79, 94
プレミアムおまかせオート	32
プログラムオート	33
プロテクト	94
ヘルプガイド	12
ポートレート	46
ボリューム	77
ホワイトバランス	87

マ行

マーク一設定	90
マーク一表示	89
マクロ	46
マニュアルフォーカス	53
マニュアル露出	49
マルチインターフェースキー	16
マルチショットNR	56
右ボタンの機能	61
メディア残量表示	97
メニュー	29
メモリーカード	19, 104
メモリーカードなしシリーズ	91
モーションショットビデオ設定	94
モードダイヤル	45
モードダイヤルガイド	95
モニター明るさ	95

ヤ行

夜景	46
夜景ポートレート	46
夕景	46
横縦比	85

ラ行

ライブビュー表示	90
リセット	97
リングのズーム機能	35
レンズリングの設定	64
連続撮影	57
録音レベル	89
露出設定ガイド	90
露出補正	55
露出補正值のリセット	91
露出補正の影響	91
ロックオンAF	52

ワ行

ワンタッチ(NFC)	84 _{JP}
------------	------------------

アルファベット順

AELボタン	17
AF(オートフォーカス)	51
AF補助光	86
AVCHD	68
AWB	87
A(絞り優先)	47
DISP	40, 90
DMF	51, 54
DPOF	100
DRO/オートHDR	87
Dレンジオプティマイザー	87
Eye-Fi	95
FINDER/MONITOR	90
Fn(ファンクション)ボタン	28, 61
HDMI解像度	96
HFR(ハイフレームレート)	73
Image Data Converter	81
ISO AUTO低速限界	86
ISO感度	56
JPEG	44
Mac	81
MACアドレス表示	93
MENU	29
MFアシスト	53, 89
MF(マニュアルフォーカス)	53
MOVIE(動画)ボタン	67, 92
M(マニュアル露出)	49
NFC	11, 84
PlayMemories Camera Apps	83
PlayMemories Home	82
P(プログラムオート)	33
RAW	44
Remote Camera Control	81
SCN	46
SSID・PWリセット	93
S(シャッタースピード優先)	48
TC/UB設定	96

USB LUN設定	96
USB給電	96
USB接続	96
WB	87
Wi-Fi	11
Windows	81, 82
XAVC S 4K	68
XAVC S HD	68

記号・数字順

4K映像の出力先	96
----------	----

以下の機能の詳しい情報は、
「ヘルプガイド」をご覧ください

- ピント拡大初期倍率
- 拡大の初期倍率
- 拡大の初期位置
- ISO AUTO低速限界
- ピクチャープロファイル
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB設定
- オートデュアル記録
- ブライトモニタリング
- 瞳AF
- ピクチャーエフェクト
- クリエイティブスタイル
- パノラマ撮影

URL :
<http://rd1.sony.net/help/dsc/1610/ja/>



その他

その他

サイバーショットの最新サポート情報
(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>



ソフトウェアのサポート情報
<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

サイバーショットオフィシャル WEB サイト
<http://www.sony.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020	フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577	携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599
※ 取扱説明書等の購入相談はこちら へお問い合わせください。	

↓ FAX (共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「401」+「#」(本機や付属品)
「404」+「#」(ソフトウェアPlayMemories Home)
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
<http://www.sony.co.jp/>

